2026年度第2四半期　業績説明会資料

2026年11月12日

ソニーフィナンシャルグループ株式会社

注記

ソニーフィナンシャルグループ（以下「ソニーFG」）は、ソニーフィナンシャルグループ株式会社（以下「SFGI」）と、その傘下のソニー生命保険株式会社（以下「ソニー生命」）、ソニー損害保険株式会社（以下「ソニー損保」）及びソニー銀行株式会社（以下「ソニー銀行」）、ソニー・ライフケア株式会社（以下「SLC」）、ソニーフィナンシャルベンチャーズ株式会社（以下「SFV」）ならびにそれらの子会社及び関連会社から構成される金融サービスグループを指します。

ソニーFGの連結業績は、2026年度より、国際財務報告基準（以下「IFRS会計基準」）に準拠して作成しています。また、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行はそれぞれ日本の会計基準に準拠した連結又は単体の業績も作成しており、本資料ではこれらの日本の会計基準に基づく業績も開示しています。

本資料に掲載されている表示単位未満の数値や比率・増減率は、特に記載のない限り、四捨五入又は切り捨てで表示しています。

「ソニー」及び「SONY」ならびにそれらの関連商標（文字及びロゴ）は、ソニーグループ株式会社の登録商標または商標です。
「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは商号です。

本資料に記載している修正純利益は、一時的な損益の影響を含まないことから、事業の持続的な収益力を表すとともに、ソニーFGの投資とそのリターンの循環による中長期での事業拡大をマネジメントの観点から確認することができると考えています。これらの経営指標は、IFRS会計基準及び日本の会計基準に則った開示ではありませんが、ソニーFGはこれらの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。修正純利益は、IFRS会計基準又は日本の会計基準に則って開示されるソニーFG、ソニー生命、ソニー損保及びソニー銀行の経営成績を代替するものではなく、追加的なものとしてご参照ください。

本資料に記載されている、ソニーFGの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭又は書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通し又は試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーFGの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーFGが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。ソニーFGはそのような義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

2026年度第2四半期 業績説明会　キーポイント

新契約業績	利益指標	健全性
新契約年換算保険料*1	グループ連結修正純利益*2	グループ連結ESR*3
765億円	624億円	176%
（前年同期比△8.9%）	（前年同期比+32.6%）	（前四半期末比+3pt）

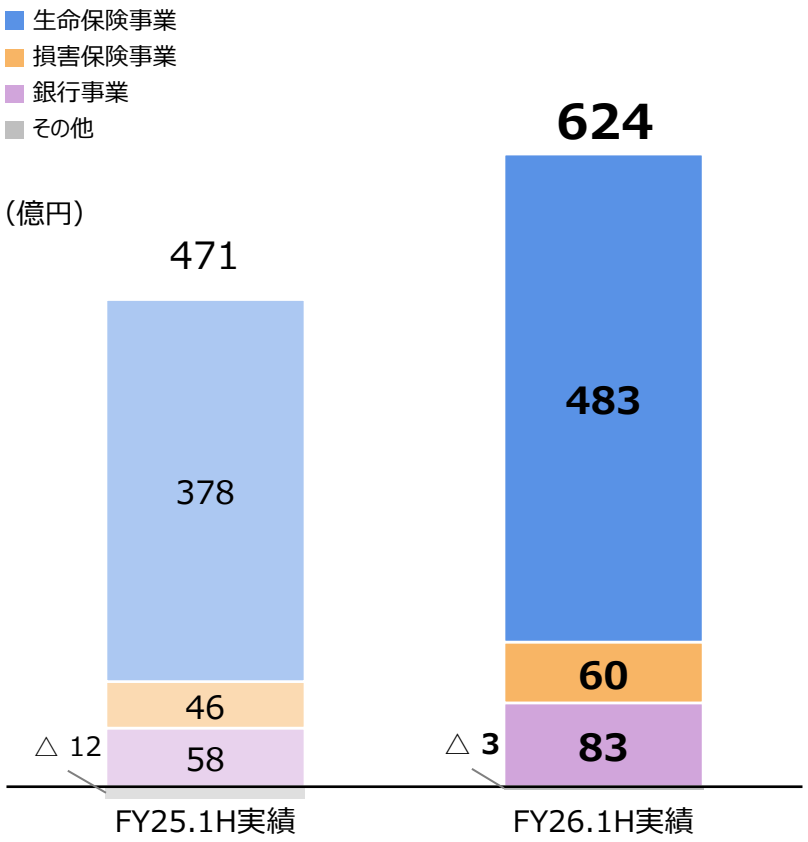
トピックス

- 2026年度第2四半期累計の新契約年換算保険料は前年同期比8.9%減の765億円
- 2026年度第2四半期累計のグループ連結修正純利益は、生命保険事業・損害保険事業・銀行事業の増益により、前年同期比32.6%増の624億円
- 2026年度第2四半期末のグループ連結ESRは、前四半期末から3ポイント上昇し、176%
- 2026年度のグループ連結修正純利益見通し及び一株当たり8.0円の配当予想は変更なし

*1：個人保険と個人年金保険の合計（次頁以降も同じ）
*2：修正純利益はIFRS会計基準及び日本の会計基準に則った開示ではありませんが、ソニーFGは、この開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。修正純利益の算定式及び調整の詳細についてはP31-32を参照（次頁以降も同じ）
*3：内部管理モデルに基づく。ESRは、経済価値ベースのリスク量に対する経済価値資本の比率。ESRは大局的な経営判断に役立てることを目的に欧州ソルベンシーIIやICS、国内の経済価値ベースのソルベンシー規制等を参考に算出。
一部で簡易的な計算方法を採用しており、計算プロセス及び結果の妥当性に関しては、第三者の検証等は受けていないことに留意。割引率等の前提条件については2026年5月14日に開示された「2026年3月末『経済価値資本』とESR の開示」を参照（次頁以降も同じ）

2026年度第2四半期 グループ連結修正純利益実績（IFRS会計基準ベース）

グループ連結修正純利益



（億円）	FY25.1H	FY26.1H
税引前利益	254	**416**

生命保険事業　483億円（前年同期比+104億円/+27.7%）

前年同期比

- （＋）レポコストの減少及び利配収入の増加等　＋35
- （＋）CSM償却額の増加等　＋30
- （－）損失要素の増加　△40
- （＋）修正純利益の安定化を目的とした金利ヘッジ　＋40

概ね相殺

損害保険事業　60億円（前年同期比+14億円/+30.7%）

前年同期比*1

- （＋）事業費効率の向上　＋15
- （－）発生保険金の増加　△11
- （＋）増収効果　＋6

銀行事業　83億円（前年同期比+25億円/+42.9%）

前年同期比

- （＋）円貨及び外貨業務における資金収支の増加　＋30
- （－）営業経費の増加　△23
- （＋）市場運用業務の収益増加　＋14

前年同期比

- （＋）SP.LINKS株式会社（旧SPSV社*2）に関連する持分法投資の譲渡益の計上

注1：内訳数値は概算値
注2：2026年度より修正純利益の算定式を見直したことに伴い、2025年度の一部数値を修正のうえ再表示。算定式の変更の詳細についてはP31参照
*1：上記の損害保険事業の変動要因は、いずれも自動車保険に係るもの
*2：ソニーペイメントサービス株式会社（次頁以降も同様）

FY26通期見通し

- グループ連結修正純利益見通しは1,100億円から変更なし
- グループ連結税引前利益見通しは、ソニー生命における上期の市況変動の影響を反映し、280億円に修正

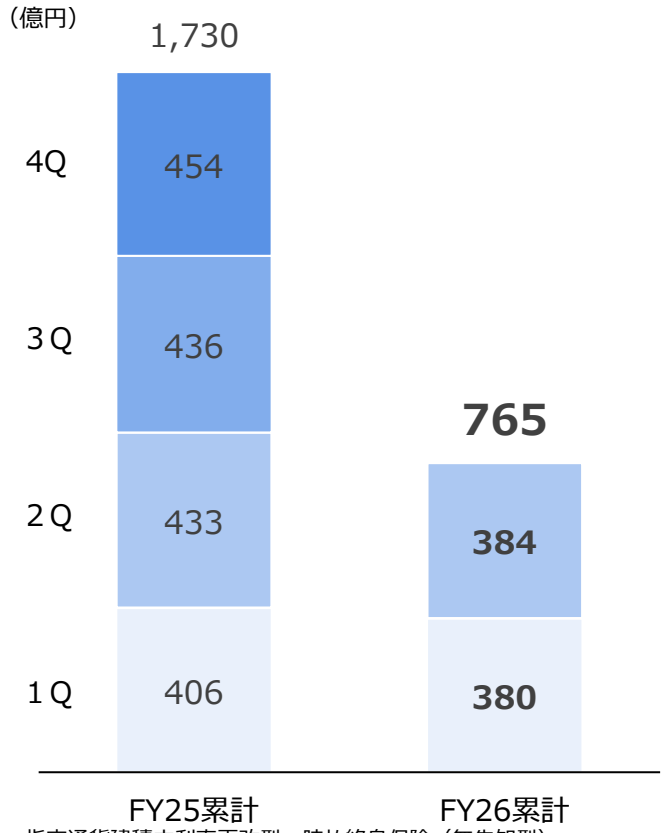
	FY26見通し				FY26.1H	（参考）
（億円）	（5月時点）	（8月時点）	（11月時点）	増減	実績	FY25実績[*1]
グループ連結　営業収益	10,500	10,700	**10,900**	**+200**	5,452	10,175
グループ連結　税引前利益	△200	370	**280**	**△90**	416	△114
グループ連結　修正純利益	1,100	1,100	**1,100**	**変更なし**	624	1,074
生命保険事業	850	850	**850**	**変更なし**	483	871
損害保険事業	120	120	**120**	**変更なし**	60	106
銀行事業	150	150	**150**	**変更なし**	83	128
1株当たり配当額	8.0円 （中間＋期末）	8.0円 （中間＋期末）	**8.0円** （中間＋期末）	**変更なし**		

*1：2026年度より修正純利益の算定式を見直したことに伴い、2025年度の一部数値を修正のうえ再表示。算定式の変更の詳細についてはP31参照

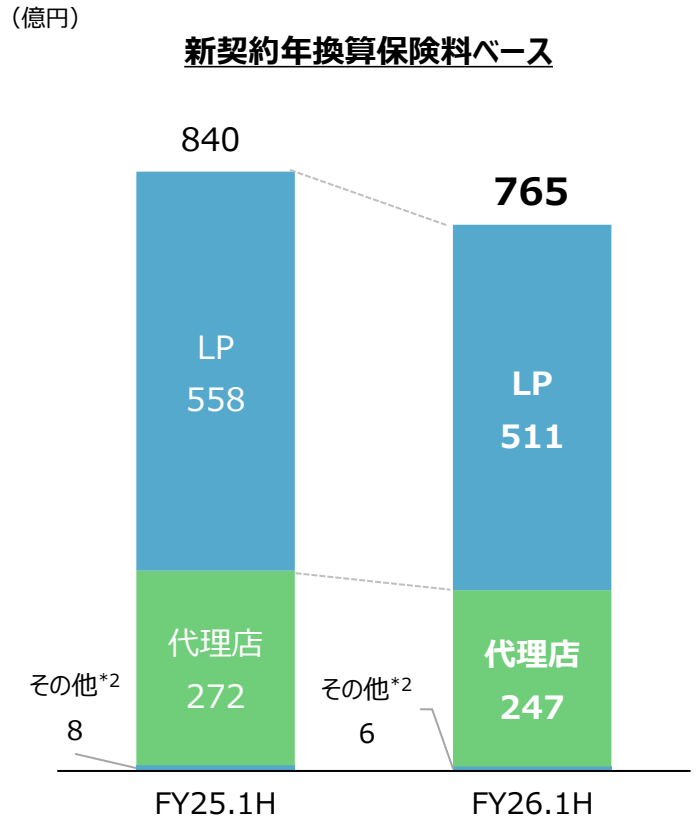
ソニー生命｜2026年度第2四半期 事業概況

- MVA（市場価格調整）付き一時払終身保険*1の販売は好調に推移した一方、変額個人年金保険SOVANIの販売は減少
- ライフプランナー（以下「LP」）・代理店の両チャネルでの弱含みにより、2026年度第2四半期累計の新契約年換算保険料は、前年同期比減少

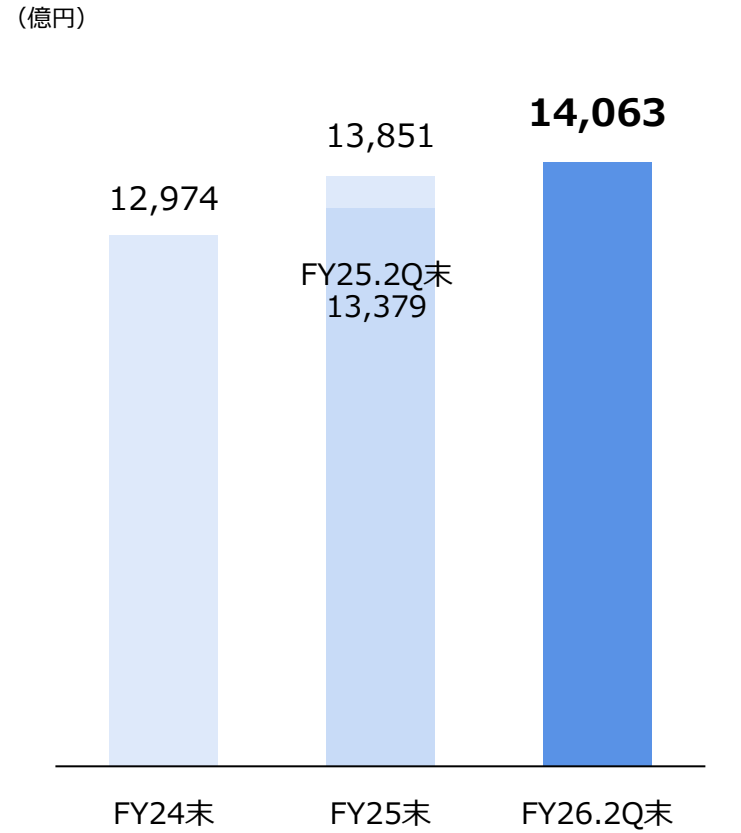
新契約年換算保険料



チャネル別内訳



保有契約年換算保険料*3

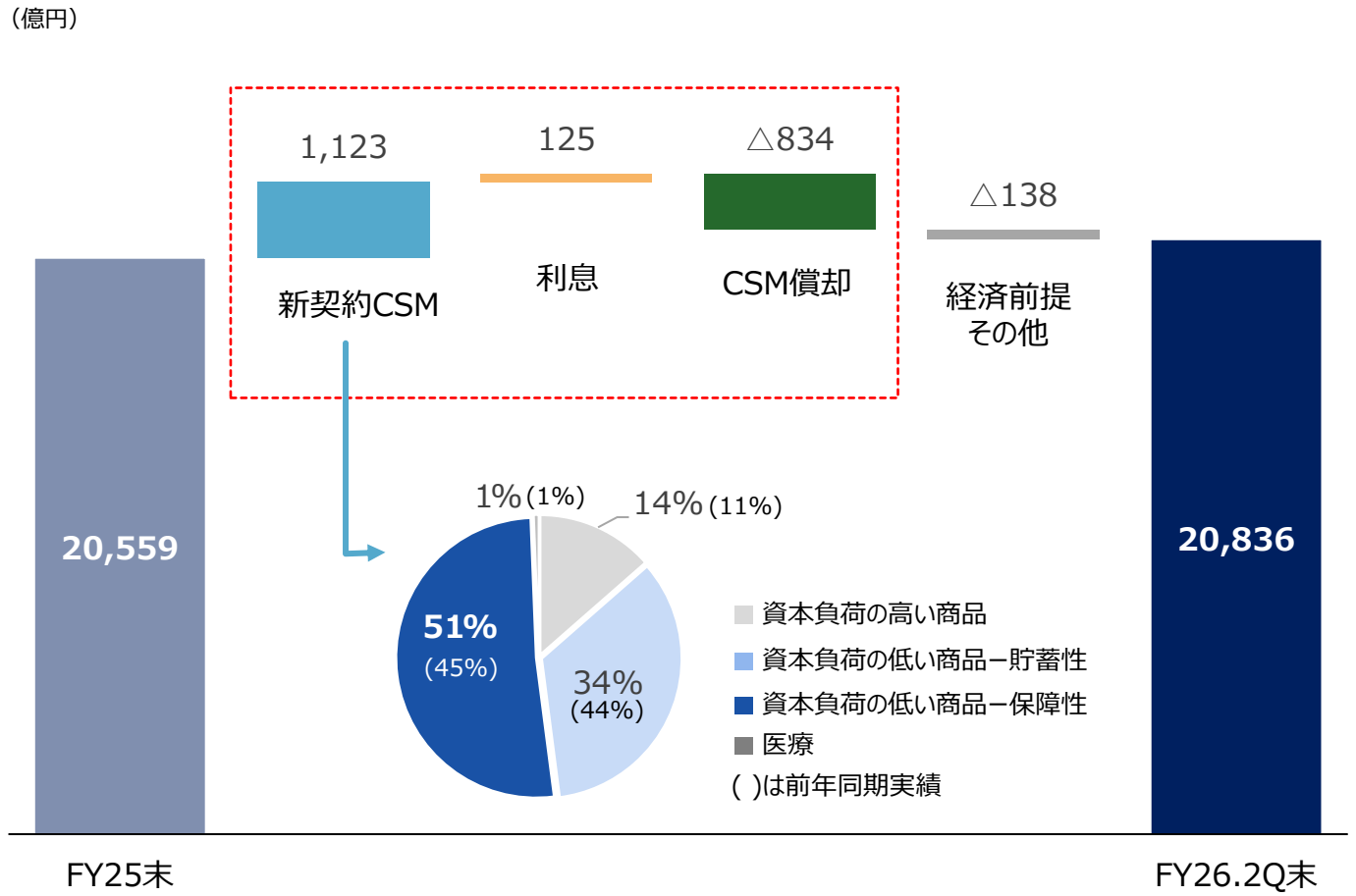


*1：指定通貨建積立利率更改型一時払終身保険（無告知型）
*2：「その他」にはソニーライフ・コミュニケーションズ株式会社（保険製作所）等を含む
*3：個人保険と個人年金保険の合計（次頁以降も同じ）

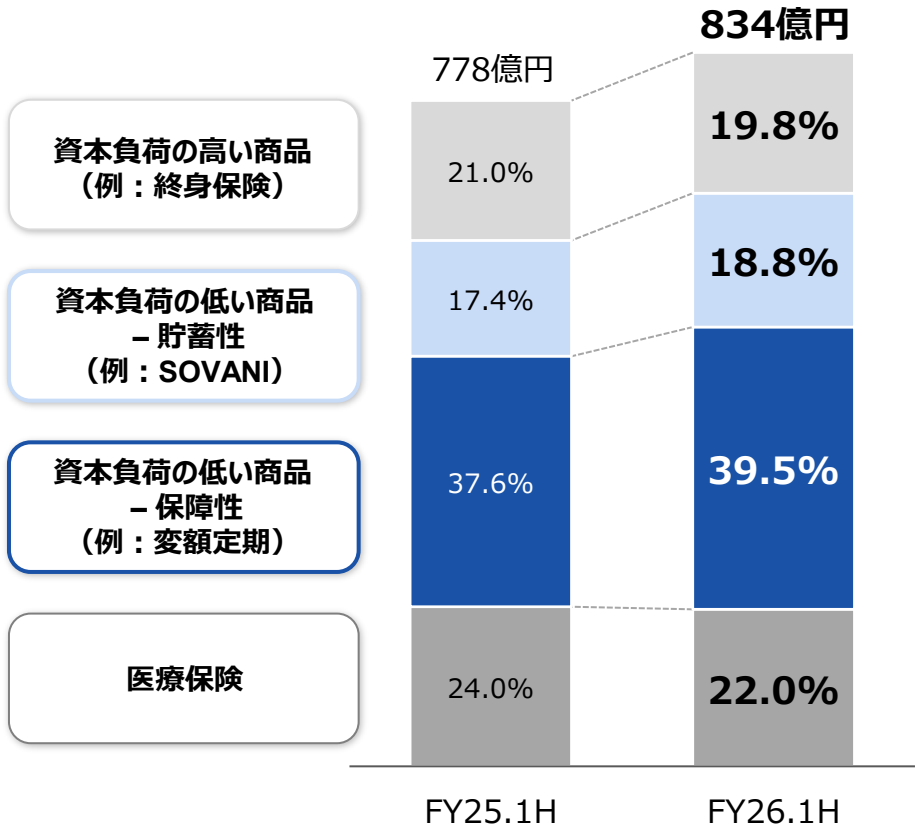
ソニー生命｜CSMの状況

- CSM残高は堅調に推移
- 保障性商品の構成比上昇などにより、CSM償却額は前年同期比7%増加

税引前CSM*1変動内訳（IFRS会計基準）



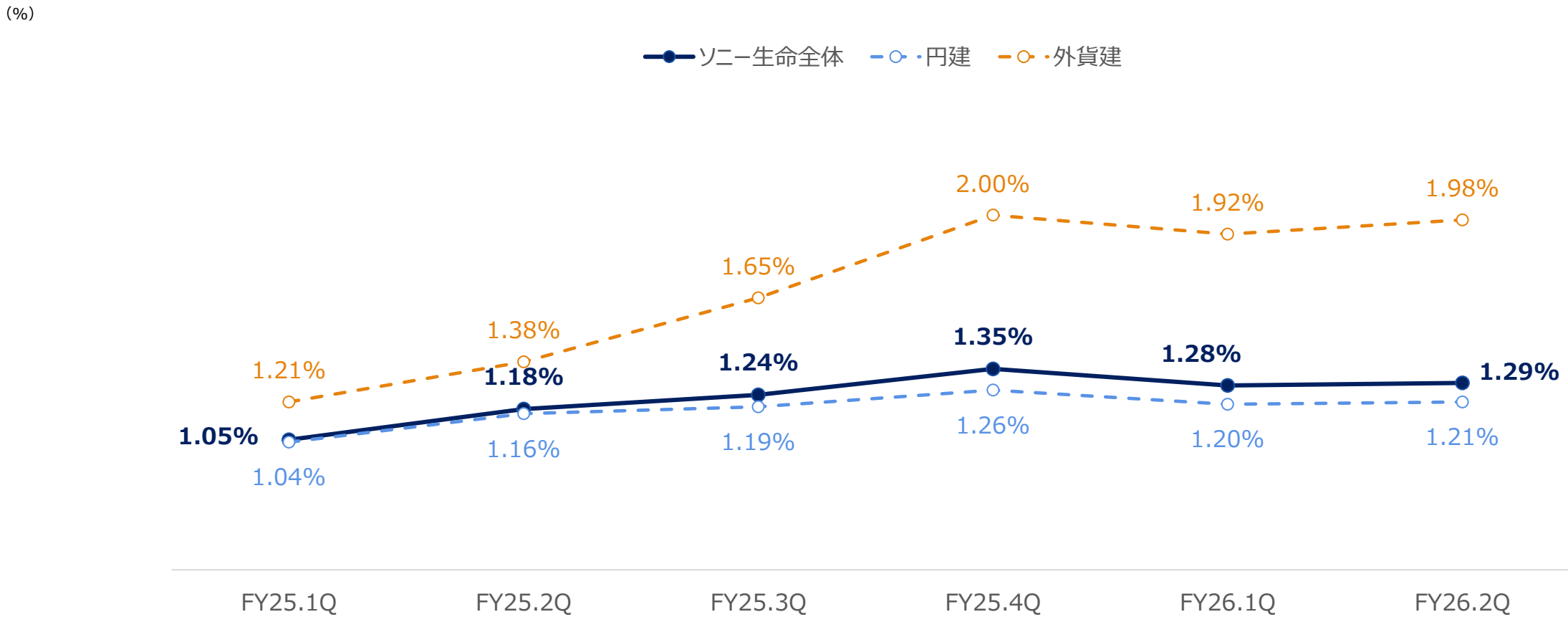
商品ミックス（CSM償却*1,2ベース）



*1：再保険CSMは含まない
*2：税引前

ソニー生命｜解約・失効率

- 当四半期の解約・失効率は前年同期を上回るものの、前四半期並みの水準で推移



40年JGB (複利)	3.09%	3.31%	3.48%	3.71%	3.79%	4.10%
ドル/円	144.81	148.88	156.56	159.88	162.39	157.35

注：解約・失効率は年換算保険料の減額又は増額、並びに復活を含めない解約・失効年換算保険料を各月初平均の保有契約年換算保険料で除した率。外貨建・円建保険の内訳数値は旧ソニーライフ・ウィズ生命を除く。外貨建保険は円換算後の値

ソニー生命｜お客さま確認の進捗状況について

追加確認の実施

約280万人を対象としたお客さま確認について、電子メール送付済みのお客さまへの封書による再確認や電話での確認対象の範囲拡大など、より多くのお客さまに複数回にわたる確認を実施

確認完了時期の見直し

追加確認に伴い、確認完了の見込みは当初想定の2026年11月末から後ろ倒し

一部営業社員の営業活動停止

金銭に関するお申し出のあった一部営業社員について、事実関係を調査する間、営業活動を停止

次回公表予定

お客さまへの確認の進捗は2026年12月中旬に公表予定
これまでと同様、重要な事案が判明した場合には速やかに公表

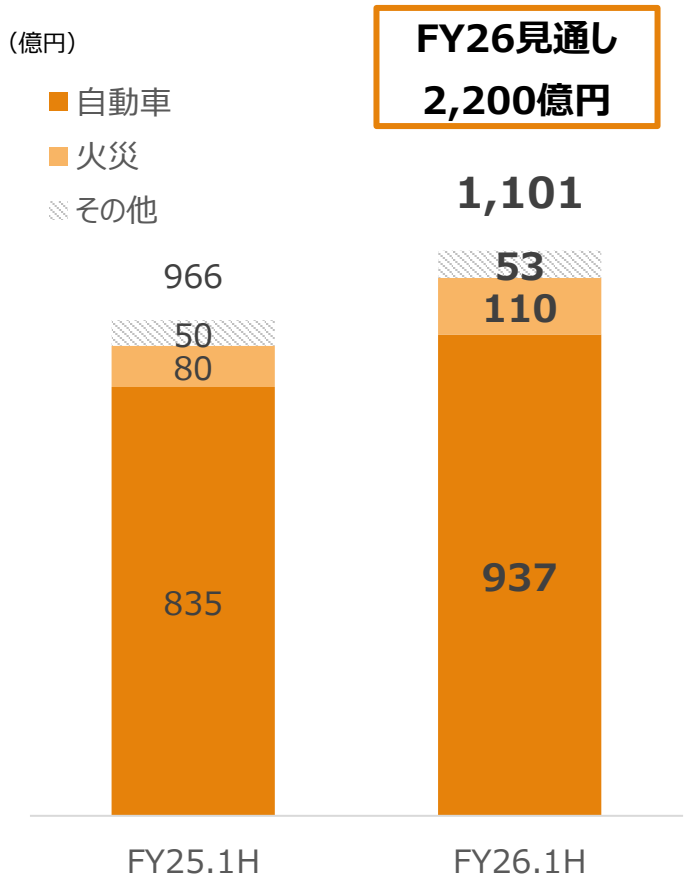
不正事案の根絶に向け、徹底的かつ丁寧な調査を継続

不正アクセスによる情報漏えいについて

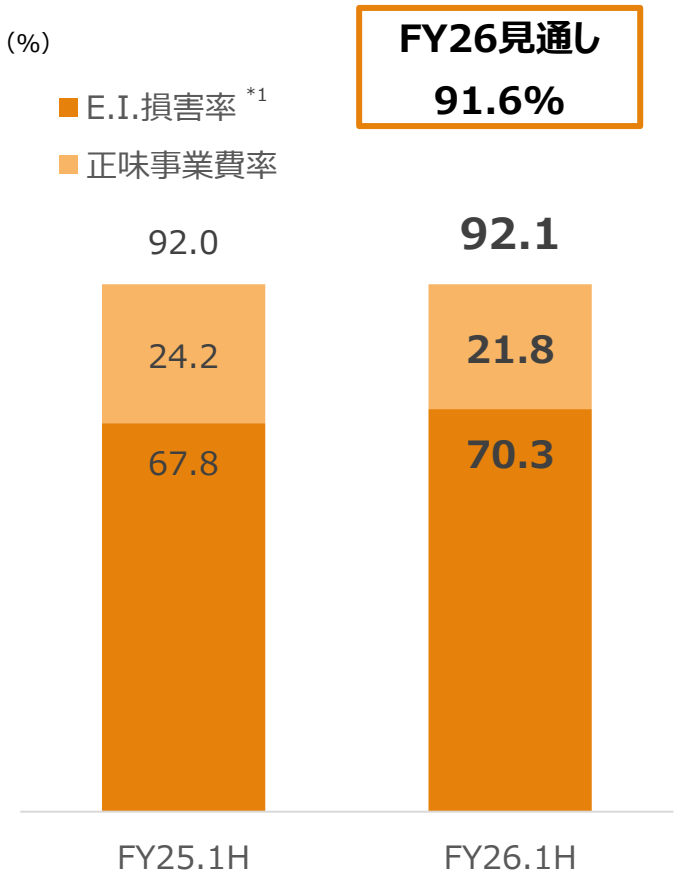
ソニー損保｜2026年度第2四半期 業容（J-GAAP）

- 自動車保険を中心に元受正味保険料は前年同期比で増加
- コンバインドレシオは、保険金単価の増加等により損害率が上昇したものの、事業費効率の向上により前年同期並みの水準を維持

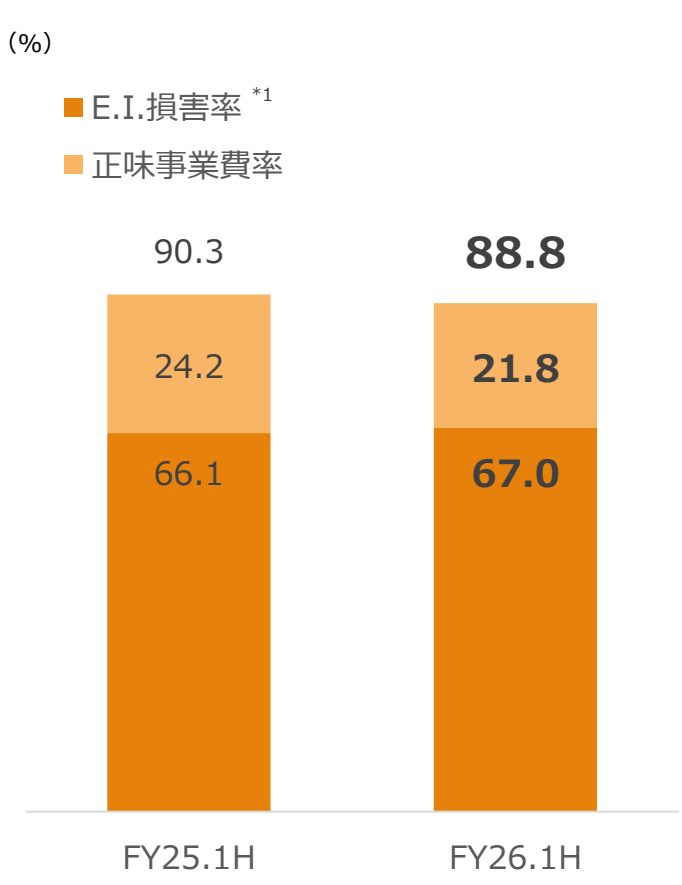
元受正味保険料



コンバインドレシオ（E.I.損害率＋正味事業費率）



コンバインドレシオ（E.I.損害率＋正味事業費率）（自然災害影響を除く）



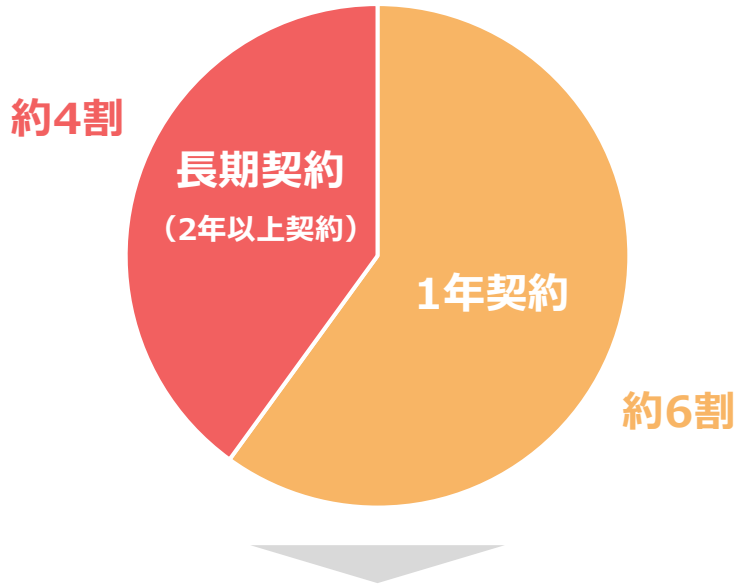
*1：地震保険・自賠責保険を除く

ソニー損保｜トピックス

- 更なる顧客基盤の拡大に向けて10月1日よりダイレクト損保としては国内唯一*1となる長期自動車保険の販売を開始
- 火災保険も成長を継続し、2026年度第２四半期累計の元受正味保険料は、前年同期比+37.5%増加

長期自動車保険の発売

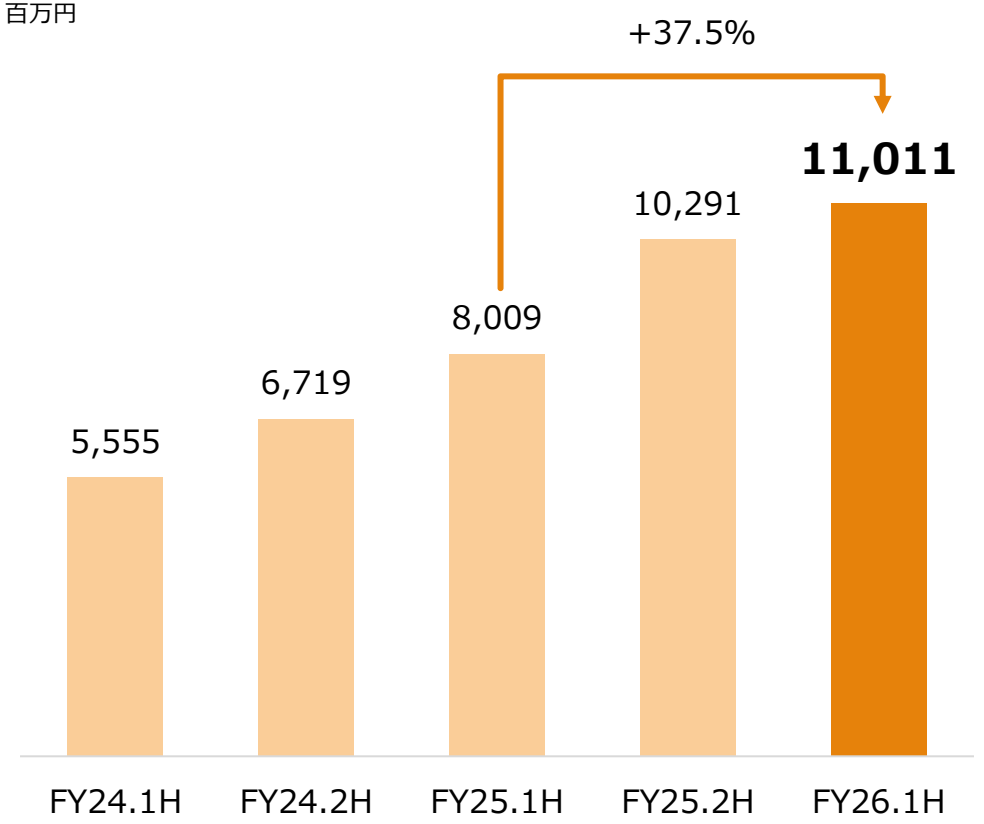
自動車保険の契約割合*2



長期自動車保険の販売により、更なる顧客基盤の拡大を目指す

火災保険　元受正味保険料*3

単位：百万円



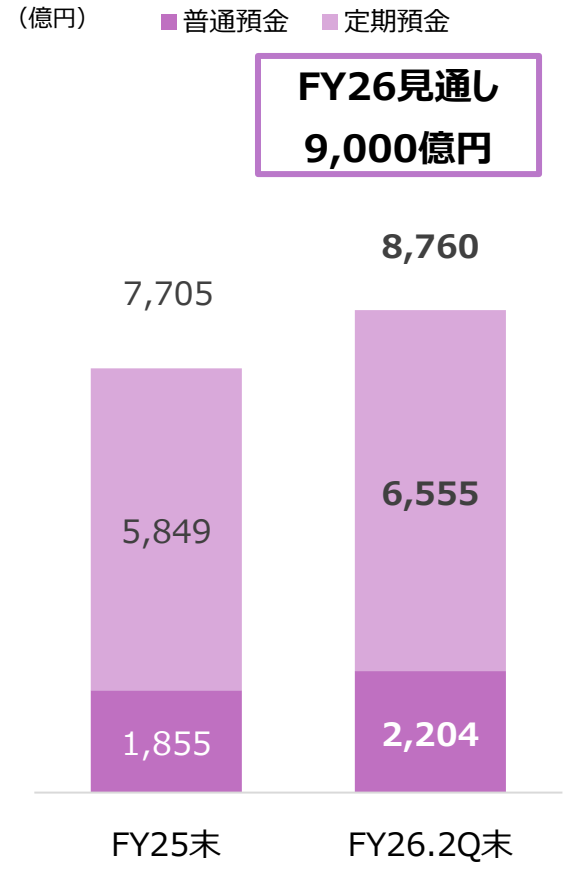
*1：主にダイレクトで自動車保険を販売している国内の保険会社について、ソニー損保調べ
*2：2023年２月実施 ソニー損保調べ
　自動車保有かつ保険加入に関与し、保険期間1年以上の契約に加入中の方（「その他」「覚えていない」を除く、回答者数 計13,406）
*3：地震保険含む

ソニー銀行｜2026年度第2四半期業容（預金残高/J-GAAP）

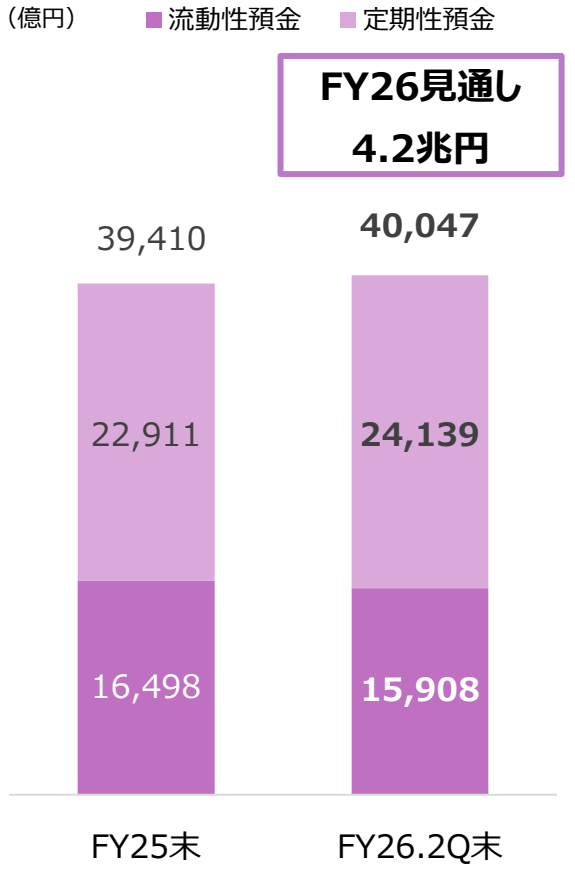
- 外貨預金残高は、為替変動を背景とした円預金からの振替などにより前年度末比で増加
- 外貨預金を起点として全体の預金残高も拡大

期末預金残高

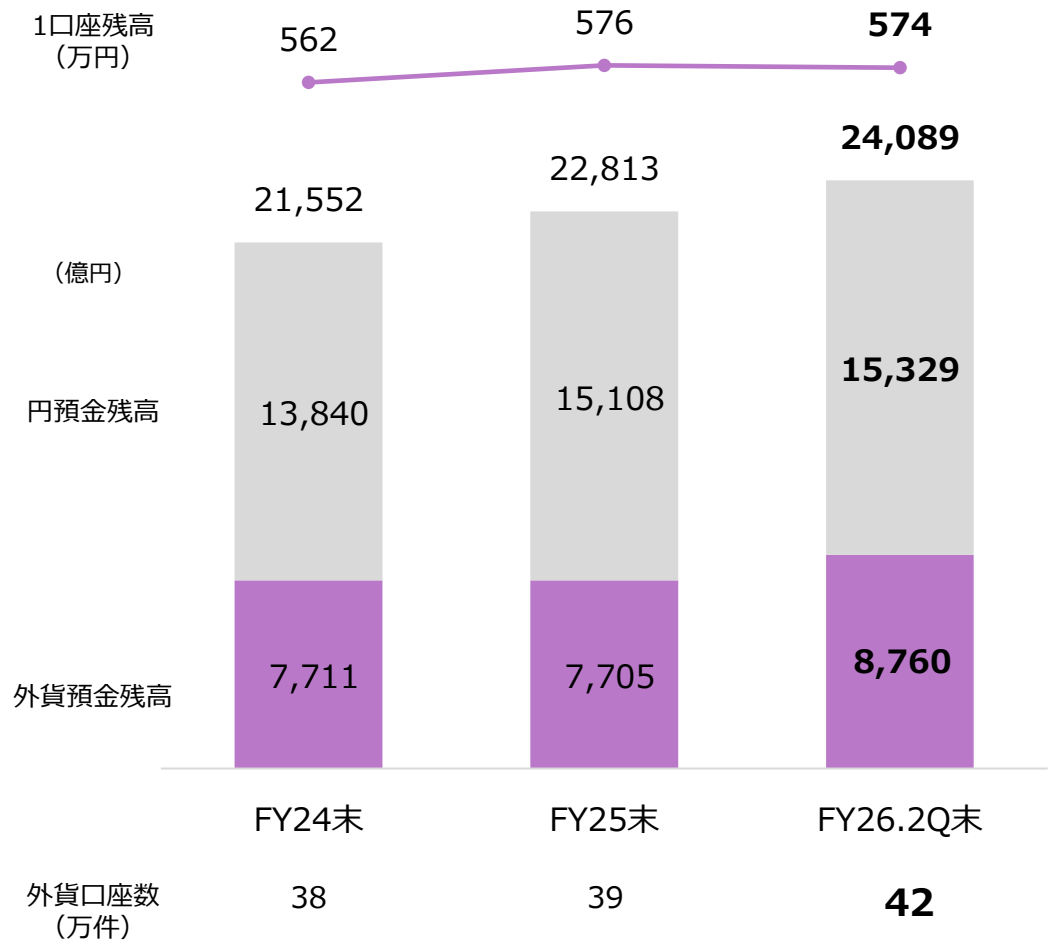
外貨預金



円預金



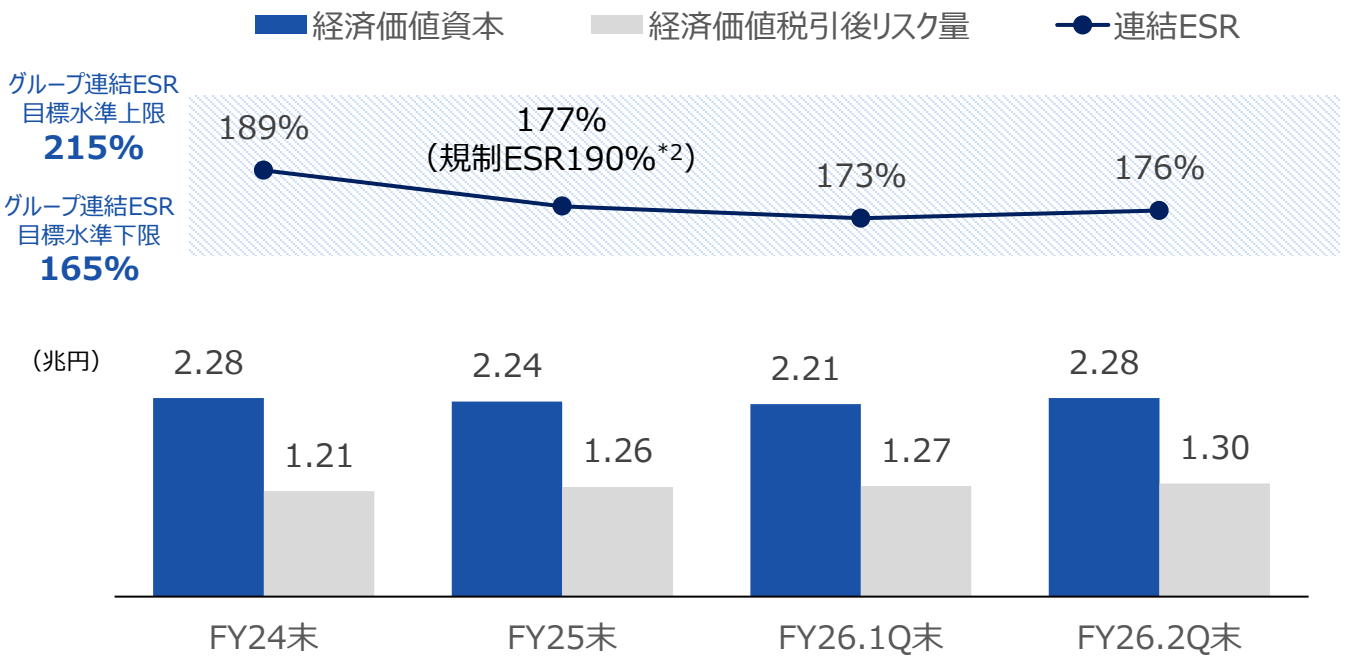
外貨保有者における預金残高推移



グループ連結ESRの推移

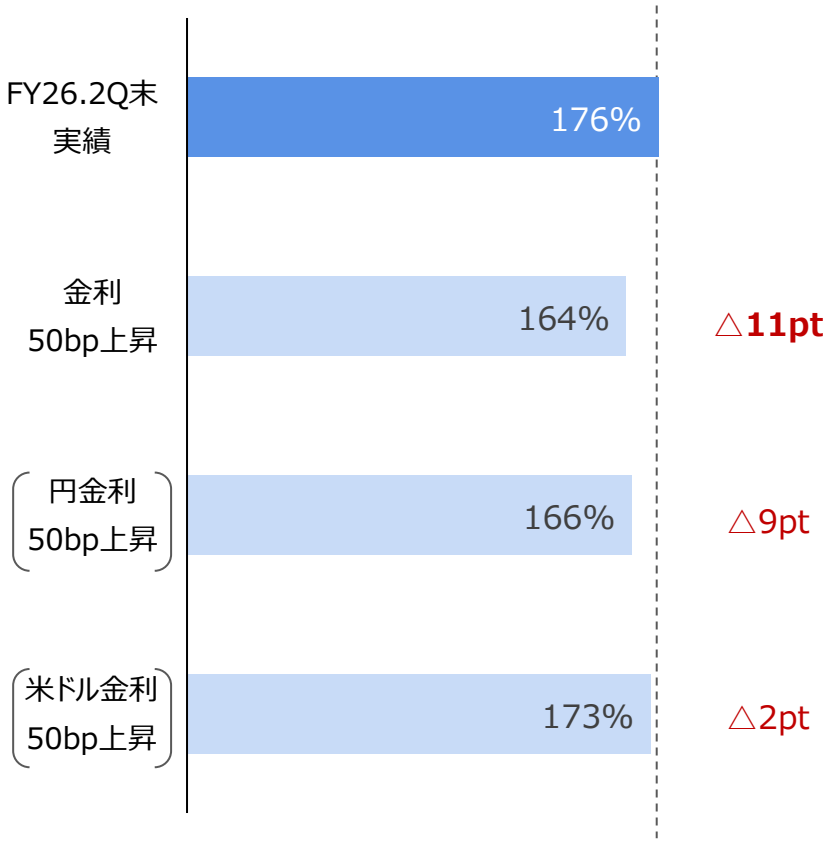
- 金利上昇による下押し影響が継続する中、各種財務改善施策の実行により、連結ESRは前四半期末比3ポイント上昇の176%
- 2026年度第2四半期に実行したデリバティブ及び債券売却の規模は計約1,200億円

グループ連結ESR （経済価値資本*1 / 経済価値税引後リスク量）



	FY24末	FY25末	FY26.1Q末	FY26.2Q末
40年JGB (複利)	2.69%	3.71%	3.79%	4.10%
(参考)ソニー生命 単体ESR	168%	162% (規制ESR175%*2)	156%	158%

グループ連結 金利上昇時のESR感応度（FY26.2Q末）



*1：劣後債務を含む（次項以降も同じ）
*2: 規制標準モデル（規制ESR）と内部管理モデル（内部ESR）との数値の差異は、主に資本の計算における保険負債の割引金利の差異と、リスク量の計算における金利リスク計測手法の差異によるもの。


Sony Financial Group

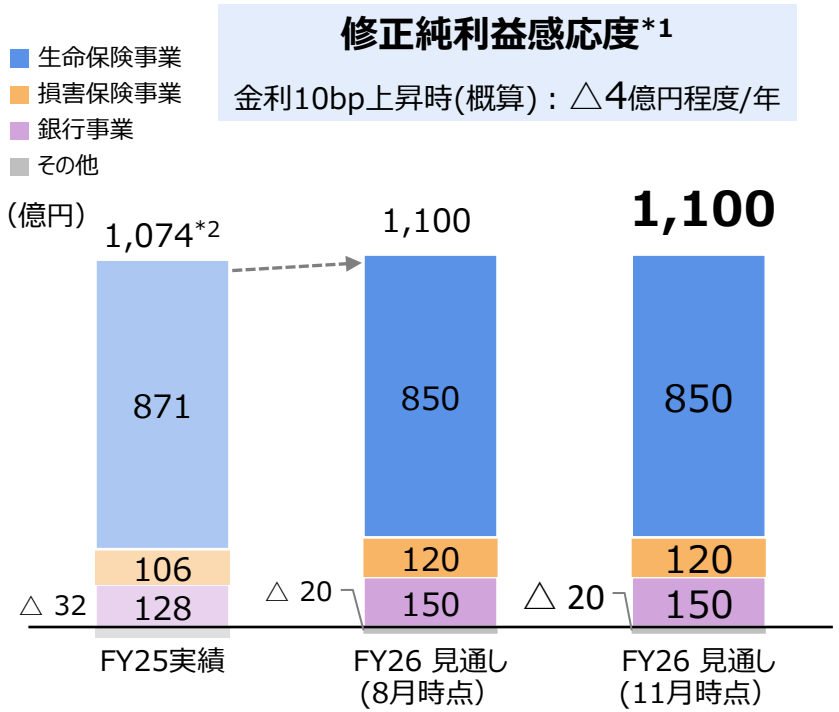
ソニー生命｜お客さま確認の進捗状況について

これまでの公表経緯及びお客さま確認の実施スケジュール

1月14日	「専属代理店の保険募集人による不正事案」公表
	（約30名のお客さまからお申し出）
4月24日	「不正事案の未然防止・早期発見に向けたソニー生命の取り組みについて」公表
4月28日	専属代理店のお客さまに対する確認開始
4月30日	保険業法 第128条に基づく報告徴求命令を受領
5月28日	「不正事案の未然防止・早期発見に向けたソニー生命の取組進捗について」公表
5月末	営業社員が担当するお客さまに対する確認開始
8月4日	ソニー生命の元営業社員による不正事案について公表
9月11日	「不正事案の未然防止・早期発見に向けたソニー生命の取組進捗について（2026年8月末時点）」公表

2026年度 グループ連結修正純利益見通し

グループ連結修正純利益



	FY25実績	FY26 見通し (8月時点)	FY26 見通し (11月時点)
金利前提 (40年JGB、複利)		3.9% (7月月中平均)	4.0% (10月月中平均)

(億円)	FY25	FY26見通し (8月時点)	FY26見通し (11月時点)
税引前利益 (IFRS)	△114	**370**	**280**

生命保険事業　850億円（前年同期比△20億円/△2%）

前年同期比

- (＋) CSM償却額の増加等
- (＋) レポコストの減少等　（修正純利益の定義変更による影響含む）　※定義はP31
- (－) 損失要素の増加
- (－) 税金費用の増加

損害保険事業　120億円（前年同期比+14億円/+13.2%）

前年同期比

- (＋) 事業費効率の向上
- (＋) 自動車保険における増収効果
- (－) 発生保険金の増加

銀行事業　150億円（前年同期比+22億円/+17.2%）

前年同期比

- (＋) 円貨業務における資金収支改善
- (＋) 市場運用業務の収益増加
- (－) システム費用等営業経費の増加

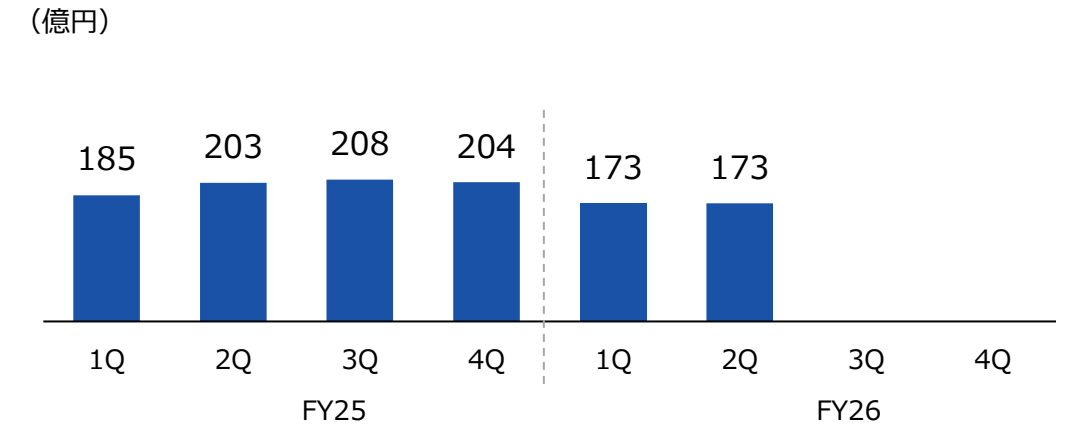
前年同期比

- (＋) ソニー生命における財務基盤強化に向けた債券売却損の縮小
- (－) ソニー生命における市況影響による利益の剥落*3
- (＋) SP.LINKS株式会社（旧SPSV社）に関連する持分法投資の譲渡益の計上

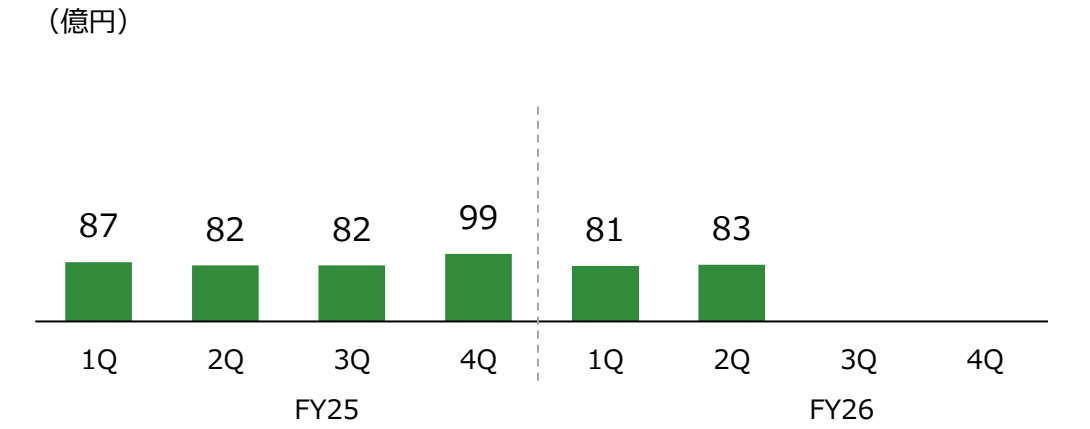
*1：保有状況が一定であると仮定
*2：2026年度より修正純利益の算定式を見直したことに伴い、2025年度の一部数値を修正のうえ再表示。算定式の変更の詳細についてはP31参照
*3：市況影響については、各見通し公表時点の直近四半期末の水準から大きな変動が生じないことを前提としている

ソニー生命｜新契約年換算保険料の内訳

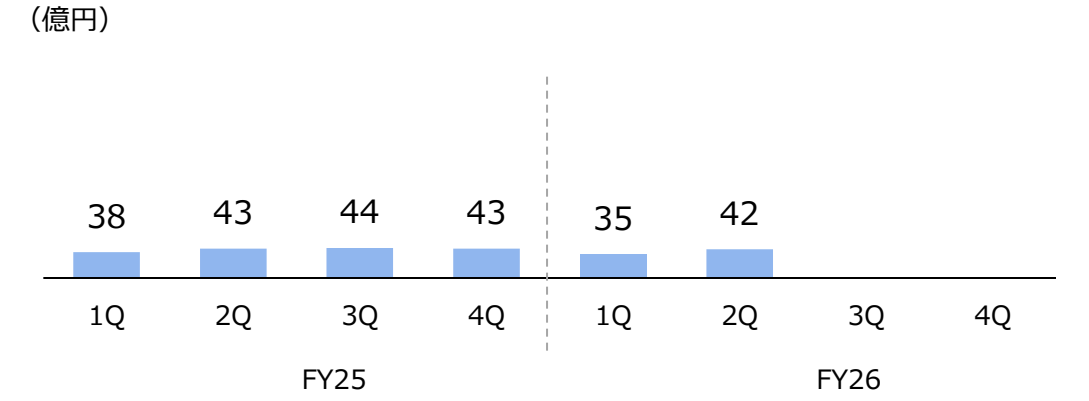
LP・個人



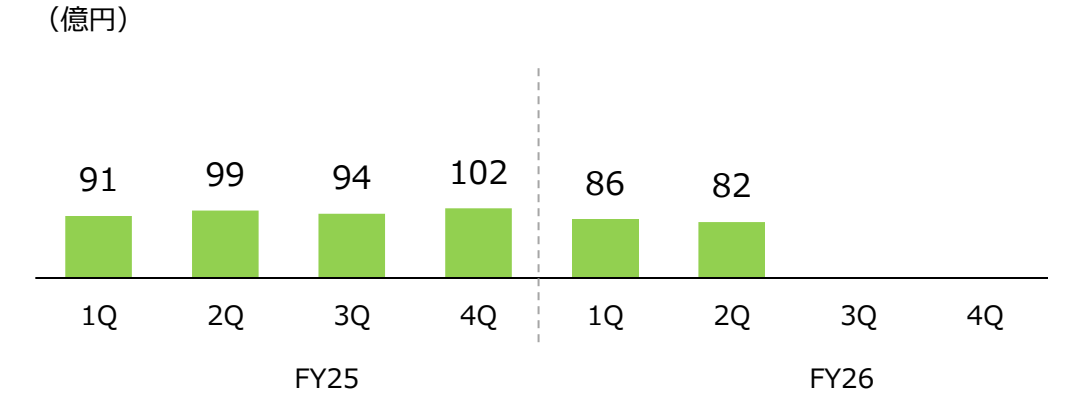
LP・法人



代理店・個人



代理店・法人

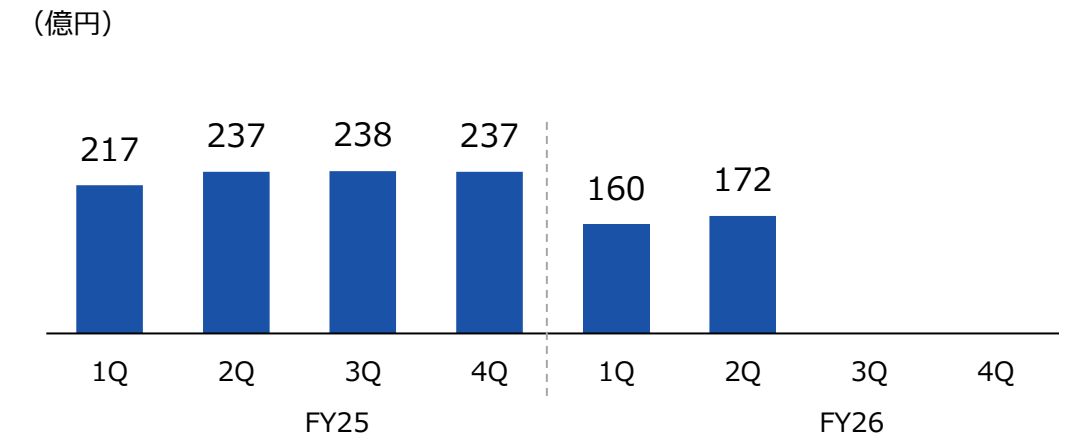


注１：チャネル別・ターゲット顧客別の新契約年換算保険料は、新契約年換算保険料をLPチャネルと代理店チャネル、個人顧客と法人顧客での販売実績の内部管理数値にて按分。
新契約年換算保険料の合計値には、上記チャネルには含まれないその他チャネルを含む（次頁以降も同じ）

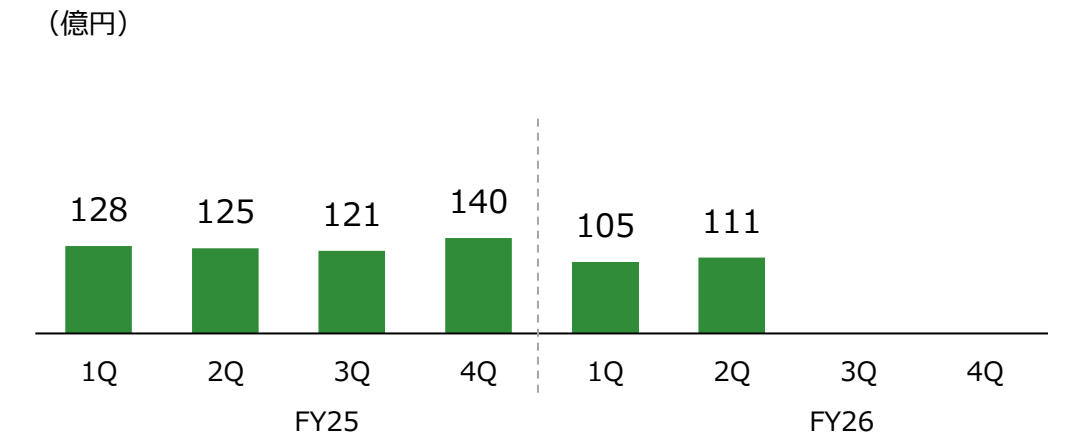
ソニー生命｜ IFRS新契約価値（税引後）の内訳

- 2026年度第2四半期は販売量の減少や商品構成の変化等により前年同期比減少

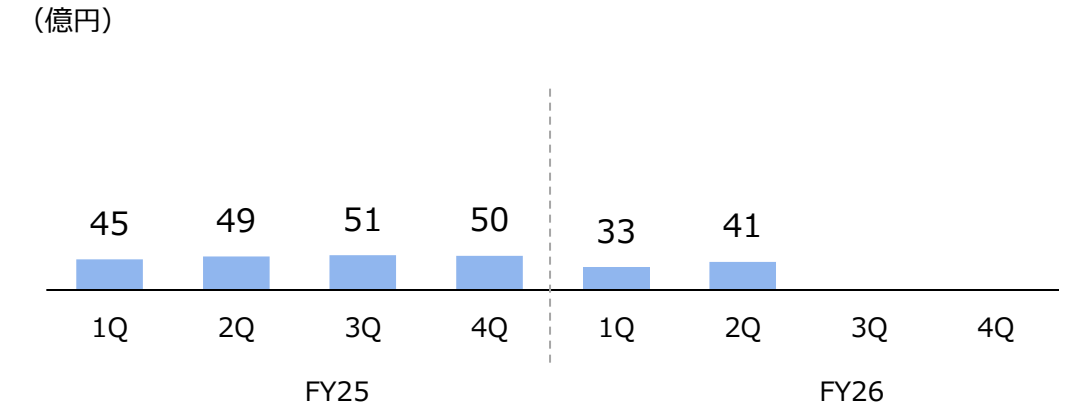
LP・個人



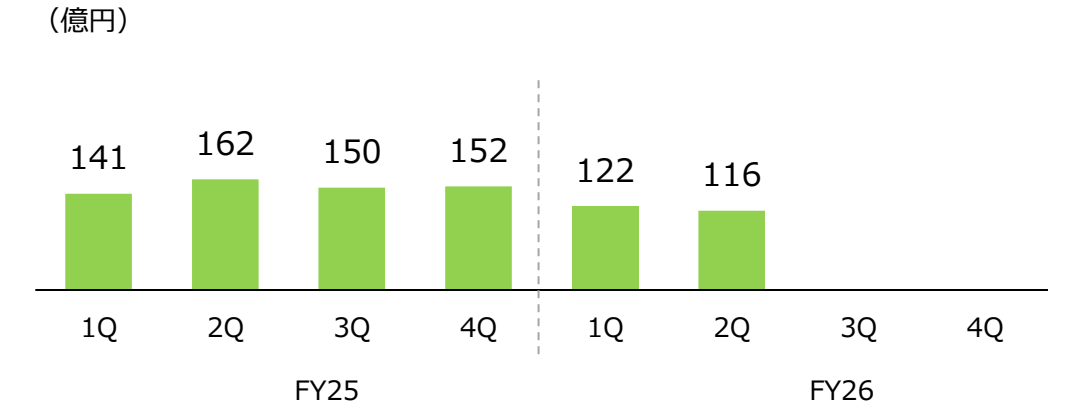
LP・法人



代理店・個人



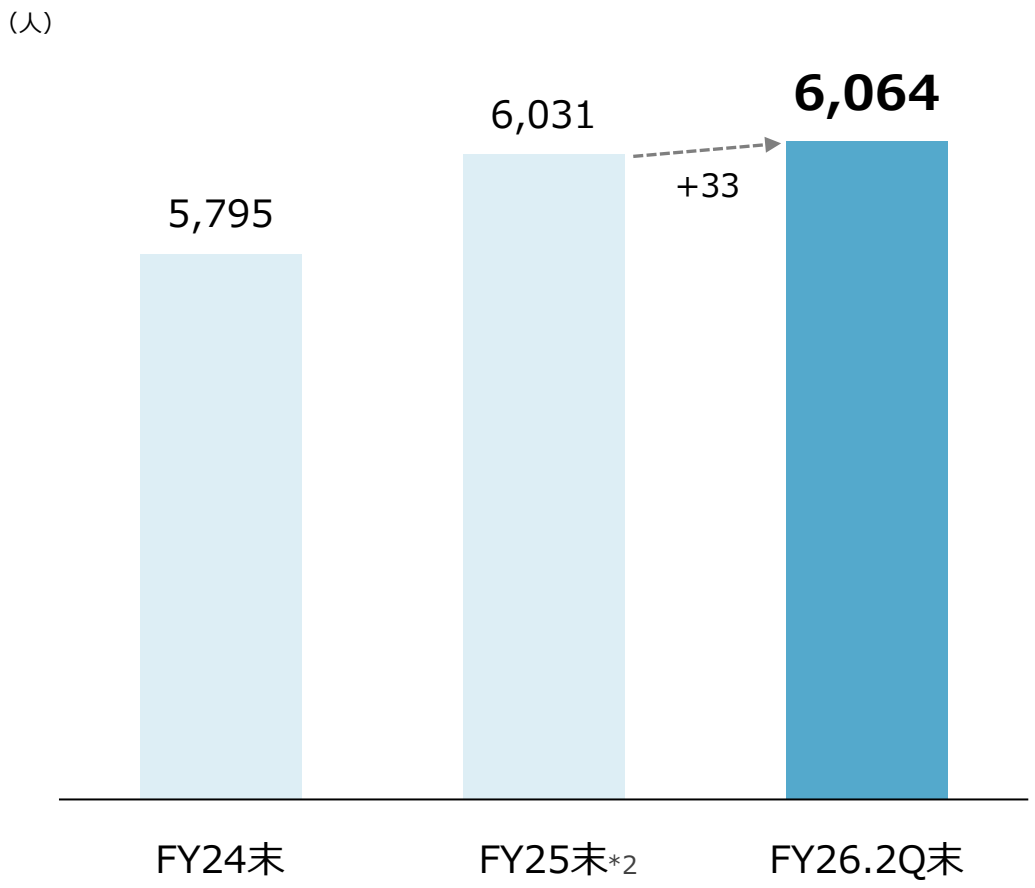
代理店・法人



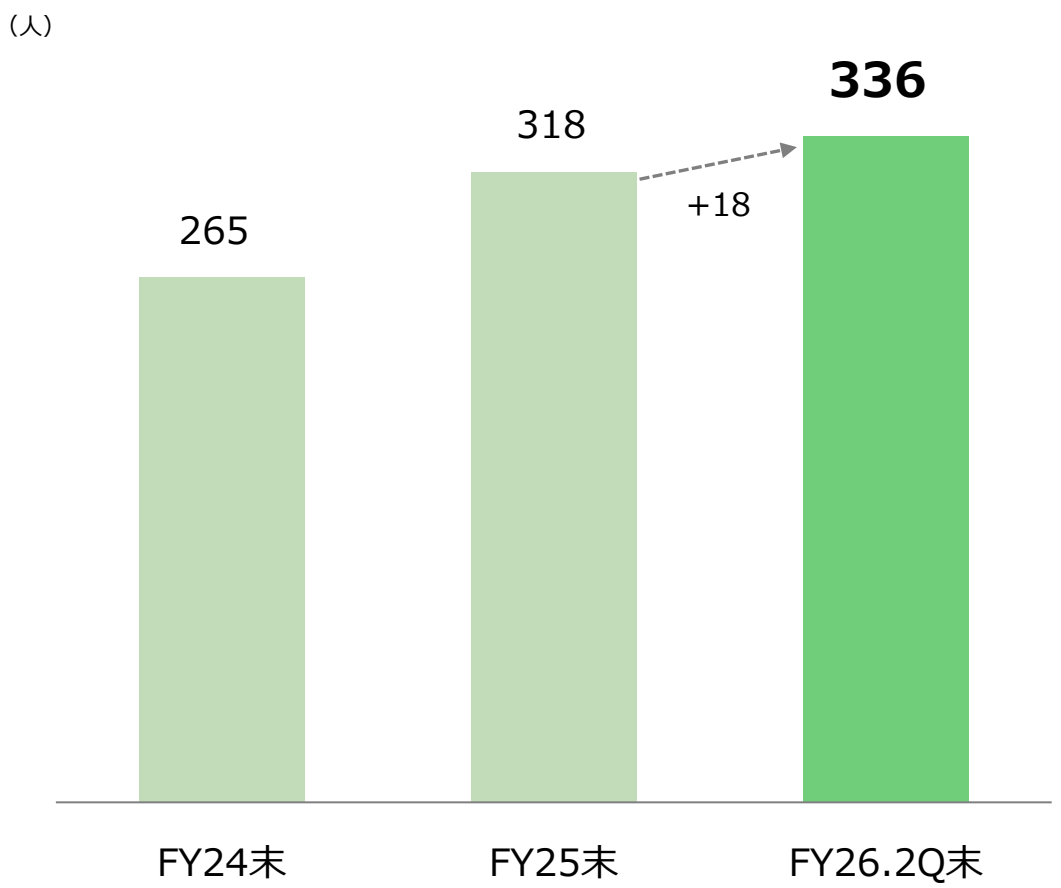
注1：IFRS新契約価値はIFRSに基づく新契約CSM+新契約損失要素でIFRS新契約価値（税引前）を算定し、ソニー生命の実効税率を使用し税引後の数値を算定。特段の記載がない限りIFRS新契約価値は税引後の数値を記載（次頁以降も同じ）
注2：チャネル別・ターゲット顧客別のIFRS新契約価値は、販売商品毎の新契約年換算保険料をLPチャネルと代理店チャネル、個人顧客と法人顧客での販売実績に分け、その割合で販売商品毎のIFRS新契約価値を按分し、チャネル別・ターゲット顧客別に足し上げることで算定（次頁以降も同じ）

ソニー生命｜販売チャネルの状況

ライフプランナー数*1



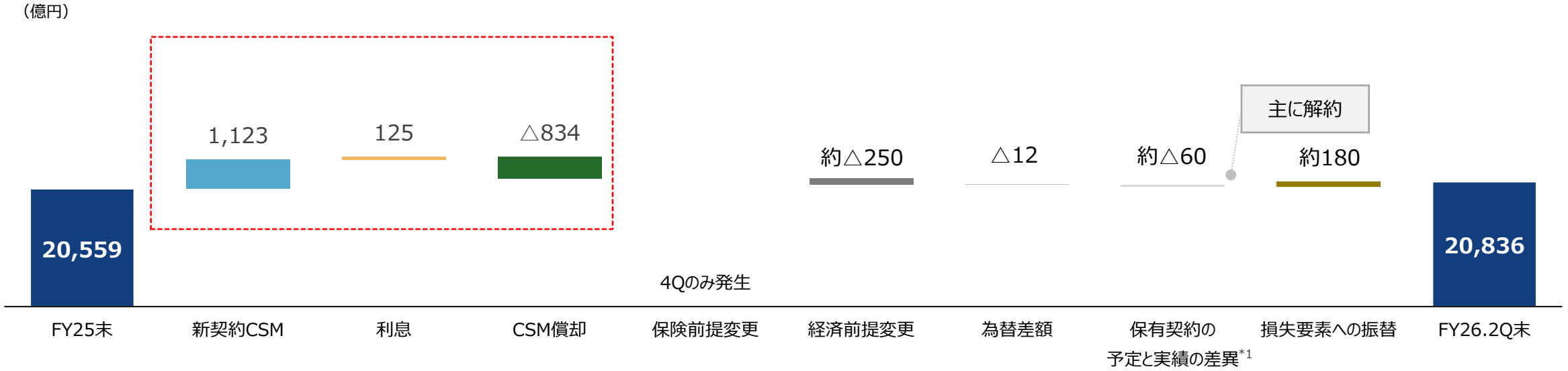
代理店サポーター数



*1：ソニーライフ・コミュニケーションズ株式会社所属のライフプランナーを含む
*2：ライフプランナーの逝去に伴う退職の把握時期に差異があったため、過去の公表数値を修正

ソニー生命単体の税引前CSM変動内訳（IFRS 会計基準）

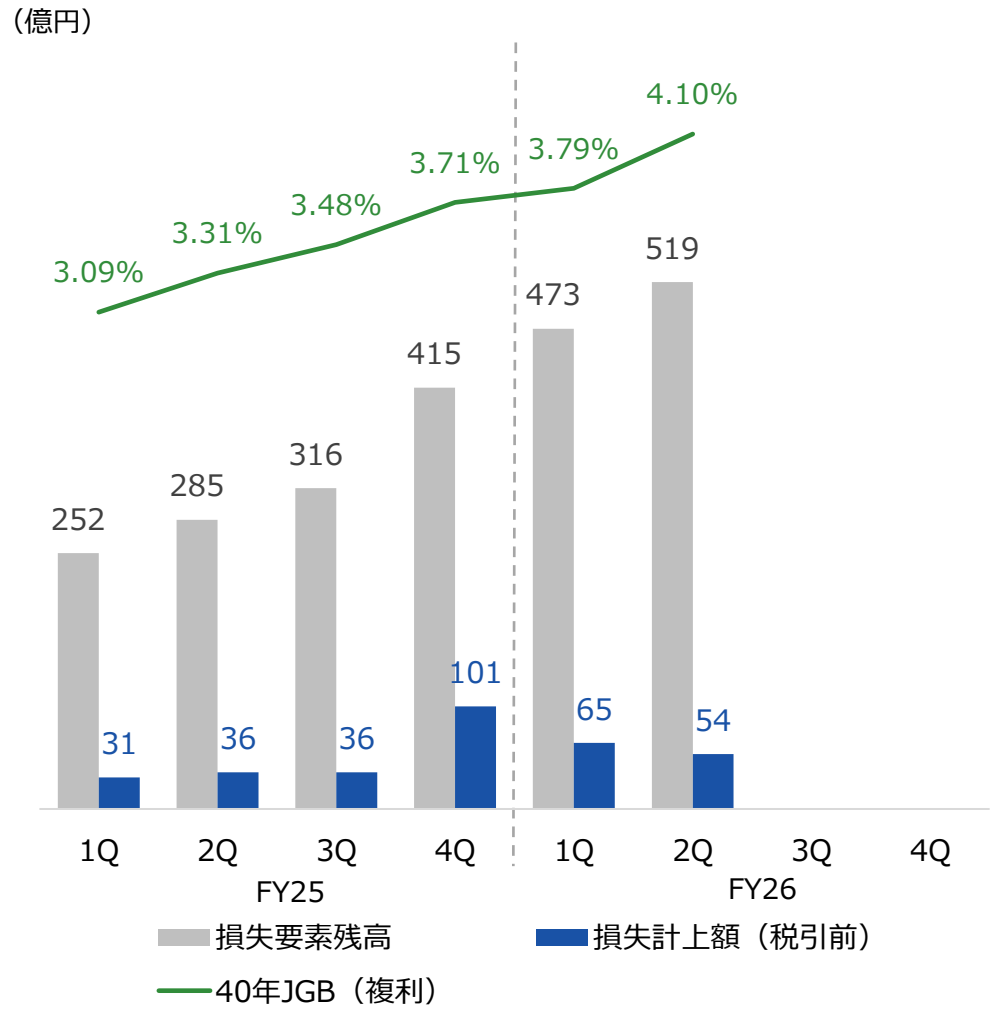




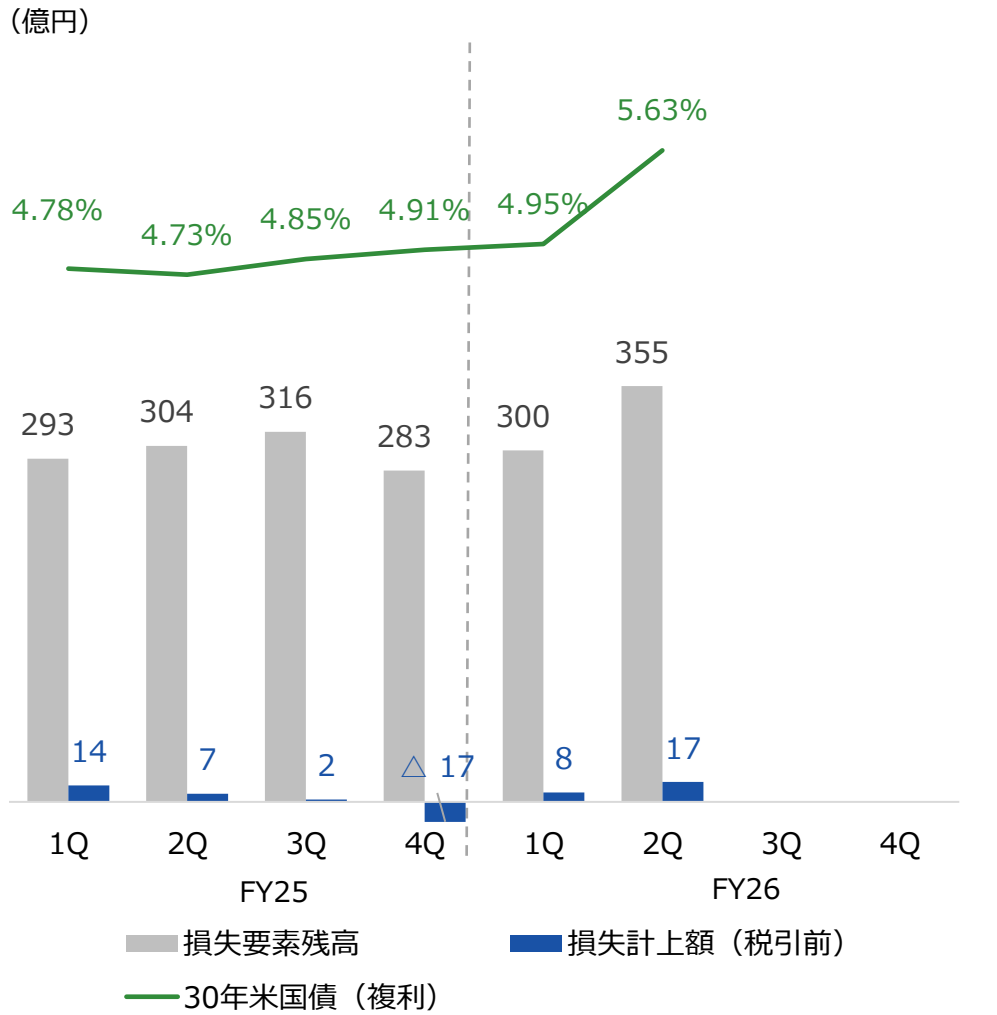
注1：再保険CSMは含まない
注2：2025年度第２四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2024年度の一部数値を修正のうえ再表示
＊１：当期の解約等の実績が期初の想定と乖離したことにより、将来に見込まれていた利益が増減した影響

ソニー生命｜損失要素の推移

円建



米ドル建

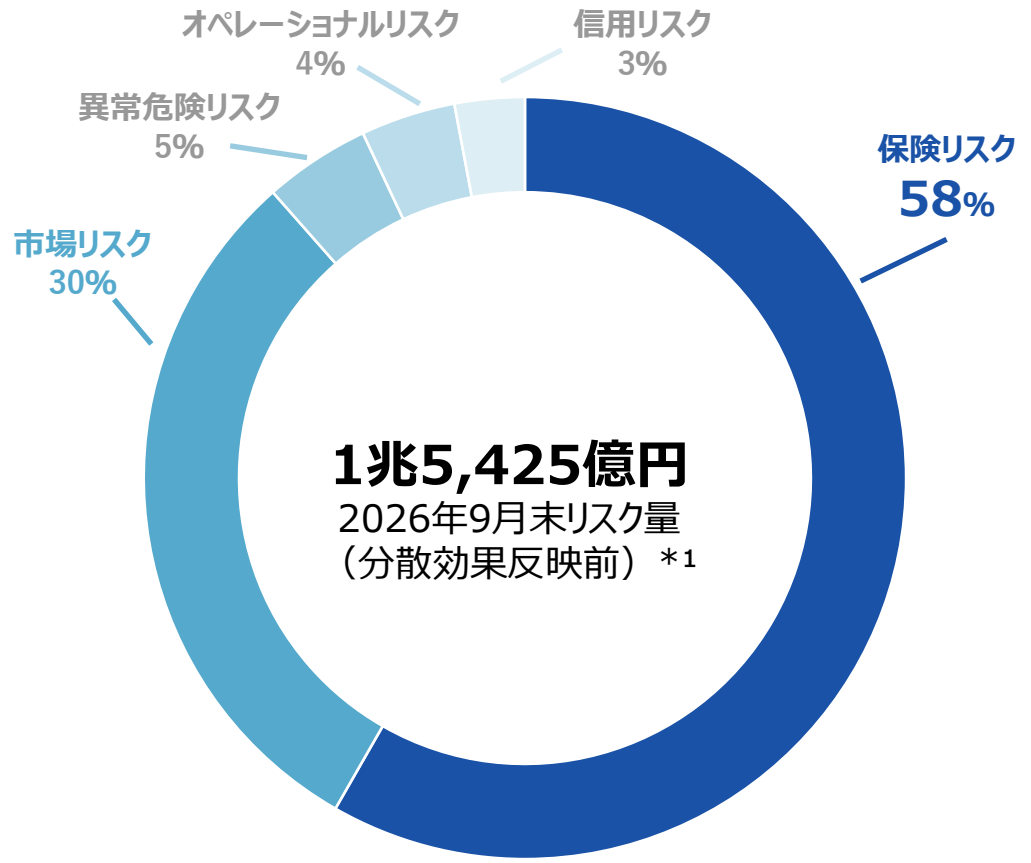


注1：損失計上額（税引前）には再保険による効果を含む。

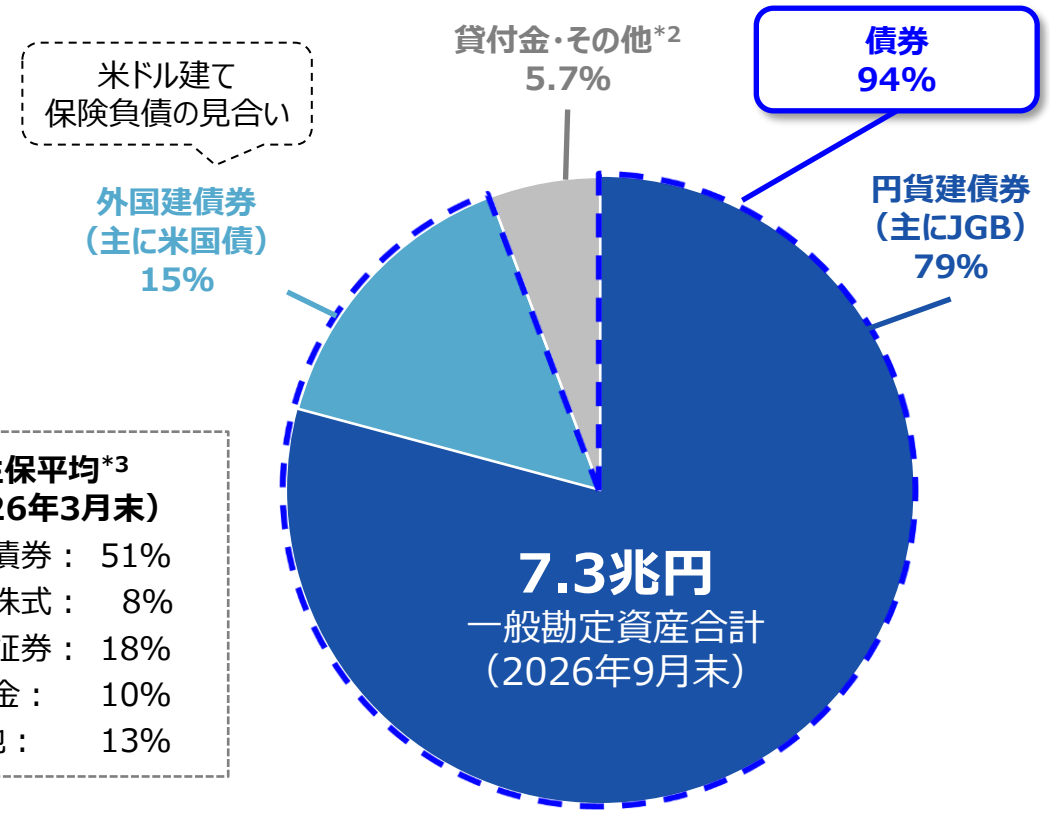
ソニー生命｜リスクプロファイルと一般勘定資産構成

- 経済価値ベースのリスクプロファイルは保険リスクが中心
- 超長期債中心の債券運用を通じ、ALM運営を推進

経済価値ベースのリスクプロファイル（分散効果反映前）



一般勘定資産の構成



上場生保平均*3
（2026年3月末）
- 国内債券： 51%
- 国内株式： 8%
- 外国証券： 18%
- 貸付金： 10%
- その他： 13%

*1：内部管理所要資本の計測に用いるリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とした内部モデルを採用
*2：オルタナティブ投資を含む
*3：上場生命保険会社の平均は、第一生命保険株式会社、太陽生命保険株式会社、大同生命保険株式会社及び株式会社かんぽ生命保険の公表資料を基にソニー生命で算出

金利環境への対応

- 債券売却、ヘッジ取引、資産入替、劣後債発行等により、金利上昇によるESRへの影響を抑制
- 今後も規律ある資本・リスク管理を通じて、ESRのさらなる改善を推進

FY24

- 債券売却
  時価：約1,210億円
- 金利スワップ
  想定元本：約1,060億円
- 米債先物
  想定元本：約2,070億円
- 再保険
  （米ドル新契約）

FY25

- 金利スワップ
  想定元本：約4,220億円
- 債券売却
  時価：約2,260億円
- 為替ヘッジ変更
  ヘッジポジション変更：約2,800億円
- 再保険（米ドル建既契約）
  取引規模*1：約3,100億円
- 劣後ファイナンス
  1,000億円

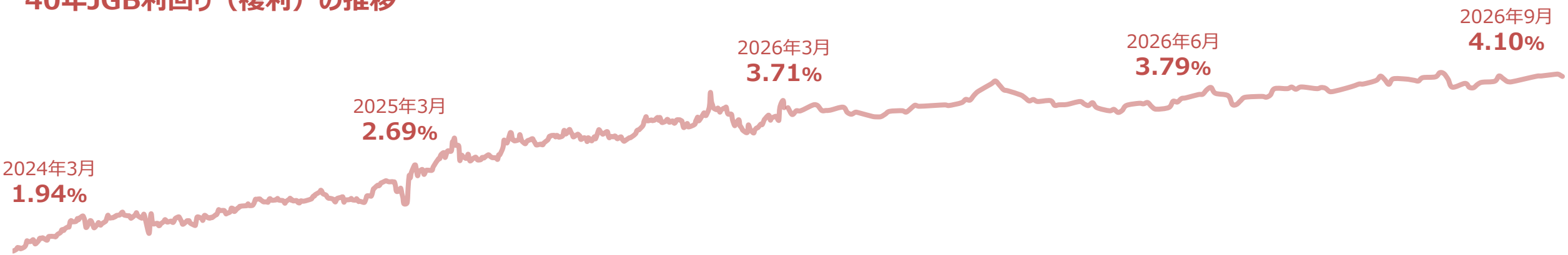
FY26.1Q

- **債券売却**
  時価：約1,200億円
- **金利スワップ**
  想定元本：約500億円

FY26.2Q

- **債券売却**
  時価：約200億円
- **JGBフォワード**
  想定元本：約1,000億円
- **劣後ファイナンス*2**
  7億米ドル（約1,100億円）

40年JGB利回り（複利）の推移

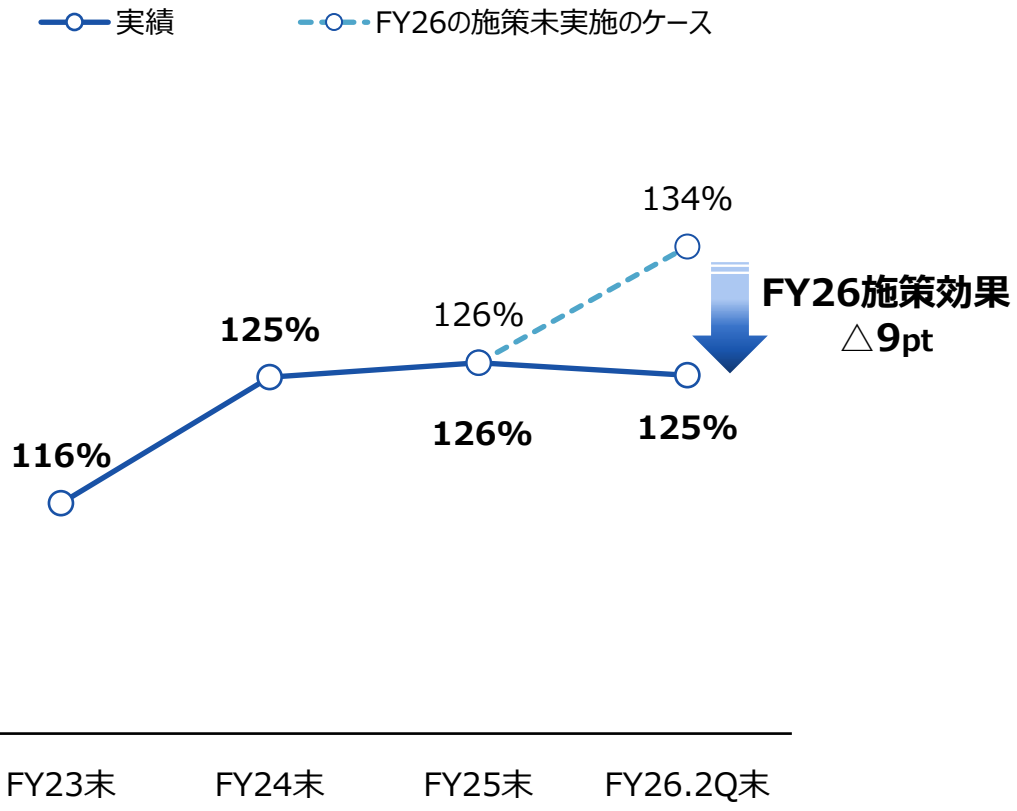


*1：責任準備金ベース
*2：ソニー生命による米ドル建劣後債。1ドル=158.01円で換算（2026年9月24日時点）。詳細についてはP28を参照（次頁以降も同じ）

ESRの安定化に向けた取組と進捗

- 2025年度に引き続き、2026年度も各種施策により、金利感応度の低減及び資本水準向上の両面からESRの安定化を推進

金利感応度マッチング比率*1(円ベース)



FY26実施施策（ FY26.2Q時点）

金利感応度低減

債券売却	時価：約1,400億円
デリバティブ	想定元本：約1,500億円

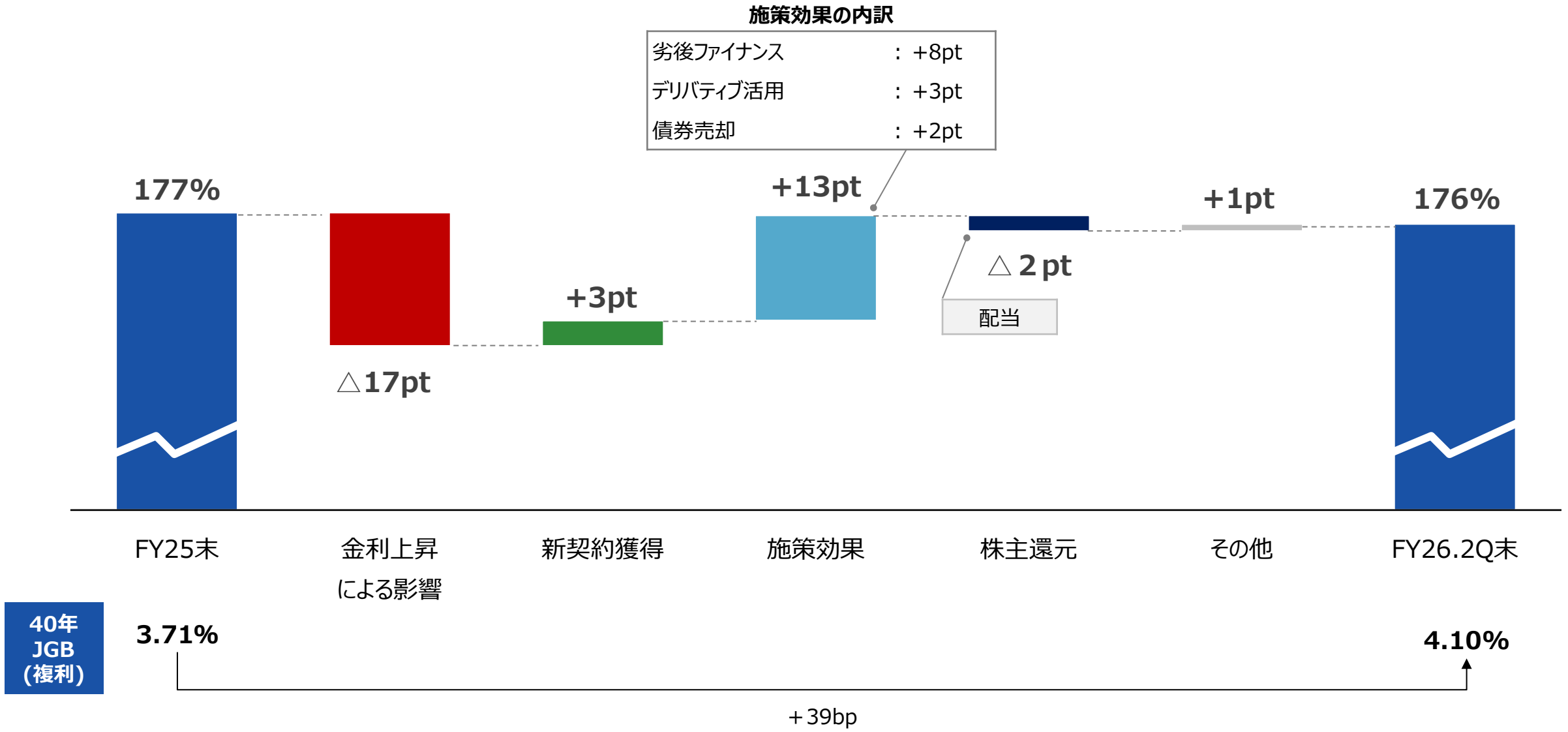
資本水準向上

新契約獲得	約600億円
劣後債発行	7 億米ドル （約1,100億円）

*1：金利感応度マッチング比率＝（金利+50bp変化時の資産変化額）÷（金利+50bp変化時の負債変化額）（次項以降も同じ）。金利感応度マッチング比率は内部管理モデル（内部管理ESRベース）

グループ連結ESRの変動要因

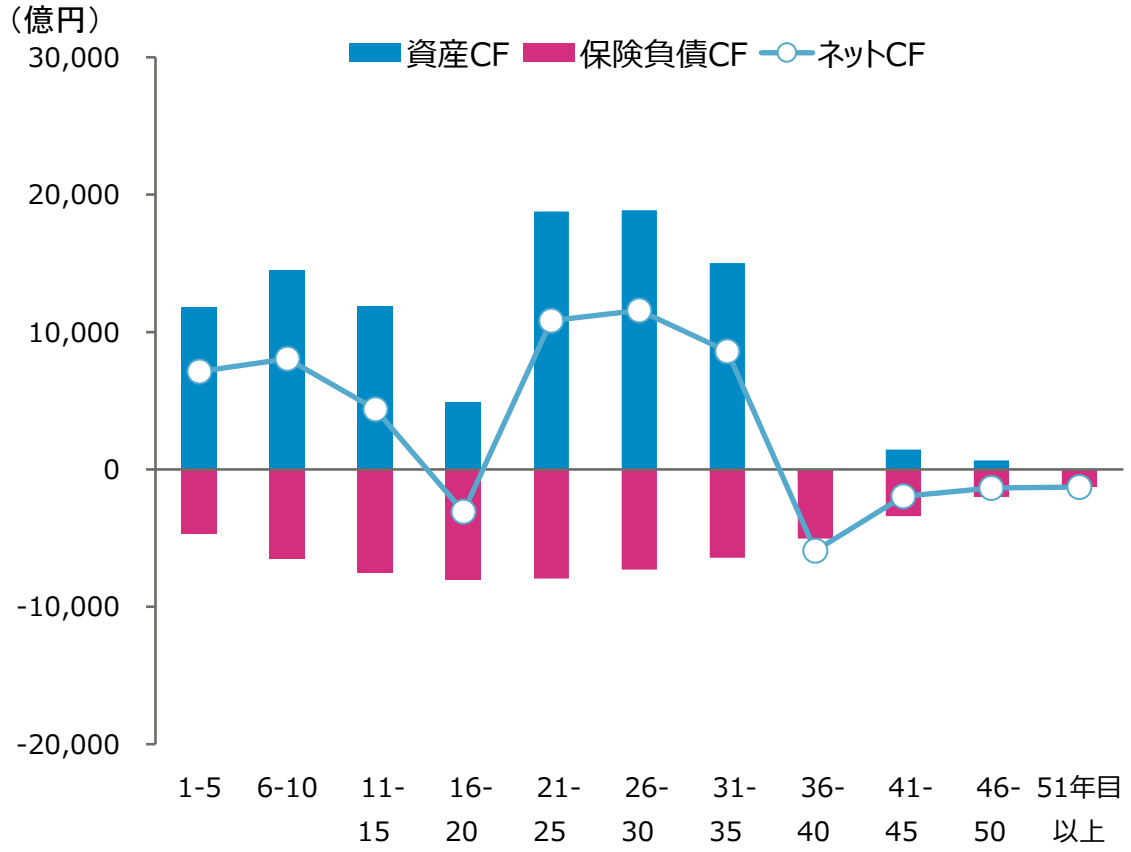
- これまでに取り組んだ施策や新契約の獲得によって、金利上昇によるESRの低下幅を抑制



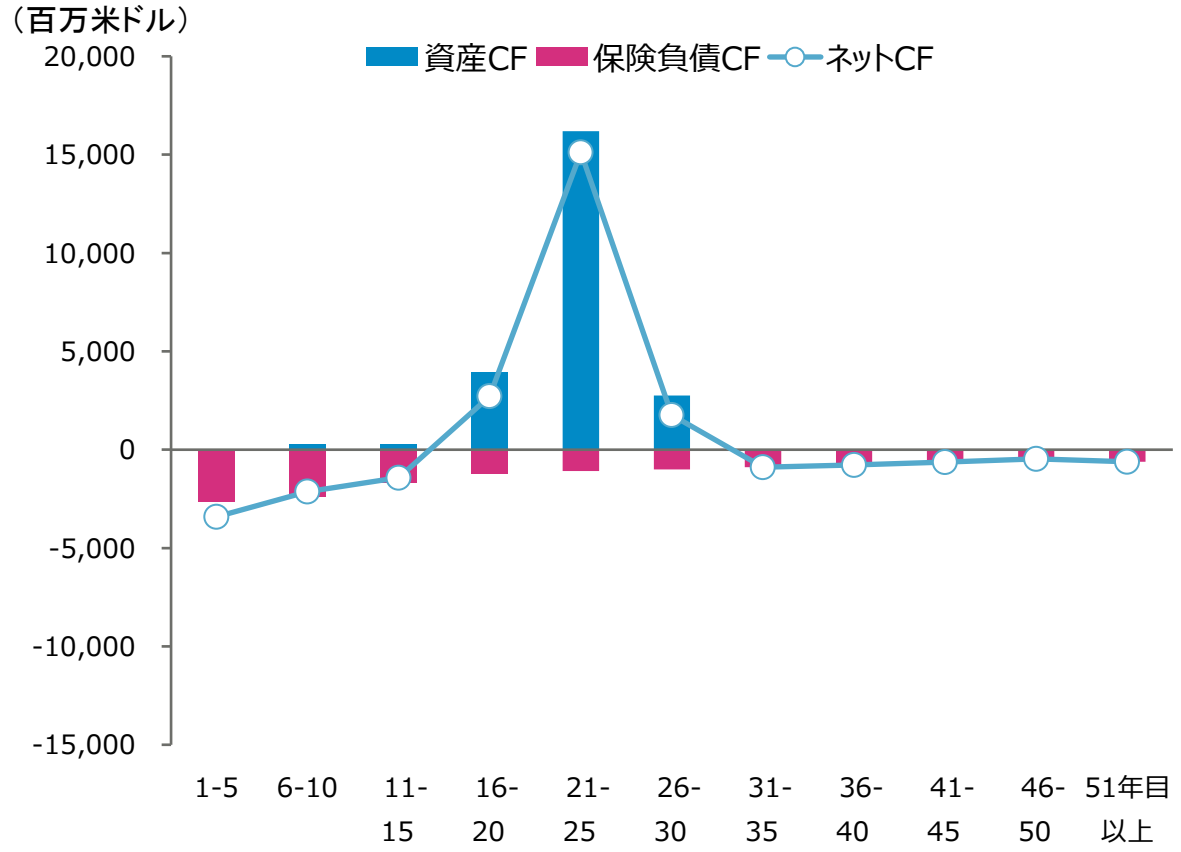
注1：変動額の内訳は概算値

ソニー生命｜資産・負債のキャッシュフロー、デュレーション

円建キャッシュフロー（FY26.2Q末）



米ドル建キャッシュフロー（FY26.2Q末）



円建デュレーション*1	FY25末	FY26.2Q末
資産	14.6年	13.5年
負債	17.3年	16.3年

米ドル建デュレーション*1	FY25末	FY26.2Q末
資産	23.9年	23.3年
負債	11.7年	10.3年

注1：ソニー生命単体　*1：経済価値ベース。平均キャッシュフロー回収期間に基づく金利感応度指標を表示。資産デュレーションは資産の加重平均デュレーション、負債デュレーションは負債キャッシュフローから算出

ソニー生命による米ドル建劣後債の発行

- ESRの安定化に向けた財務施策の一環として、ソニー生命が米ドル建劣後債を発行

発行体	ソニー生命保険株式会社
社債の種類	2056年満期米ドル建期限前償還条項付劣後特約付社債（利払繰延条項付）
発行総額	7億米ドル
償還期限	2056年９月24日 （但し、監督当局の事前確認を前提に、10年経過以降はソニー生命の裁量で任意での繰上償還が可能）
利率	2036年９月24日の前日まで 年7.125%（固定金利） 2036年９月24日以降 固定金利（ステップアップあり・5年ごとにリセット）
募集方法	米国を除く、欧州及びアジアを中心とする海外市場における募集 ※なお、日本国内での募集は行わない
上場	シンガポール証券取引所

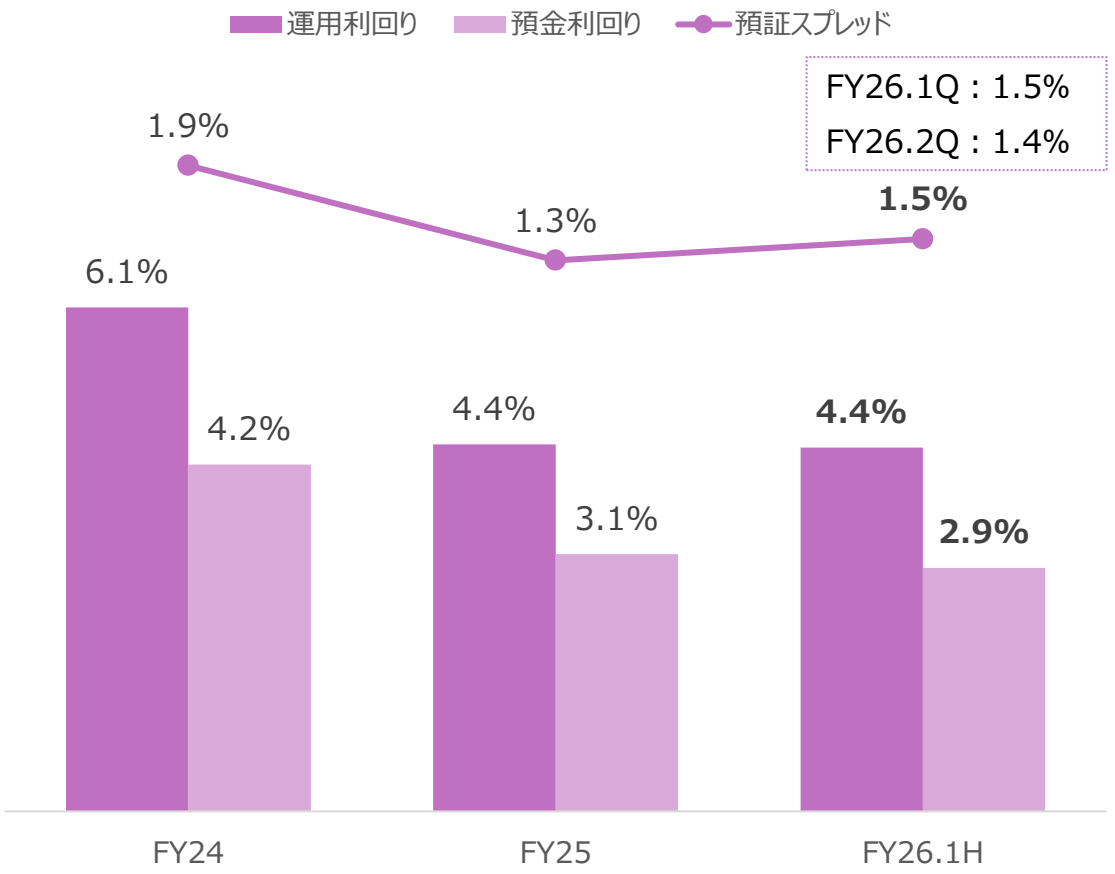
グループ連結及びソニー生命単体のESR*1水準は約8pt上昇
財務基盤の一層の充実を通じてESR安定化に寄与

*1：ESRは内部管理モデル（内部ESR）

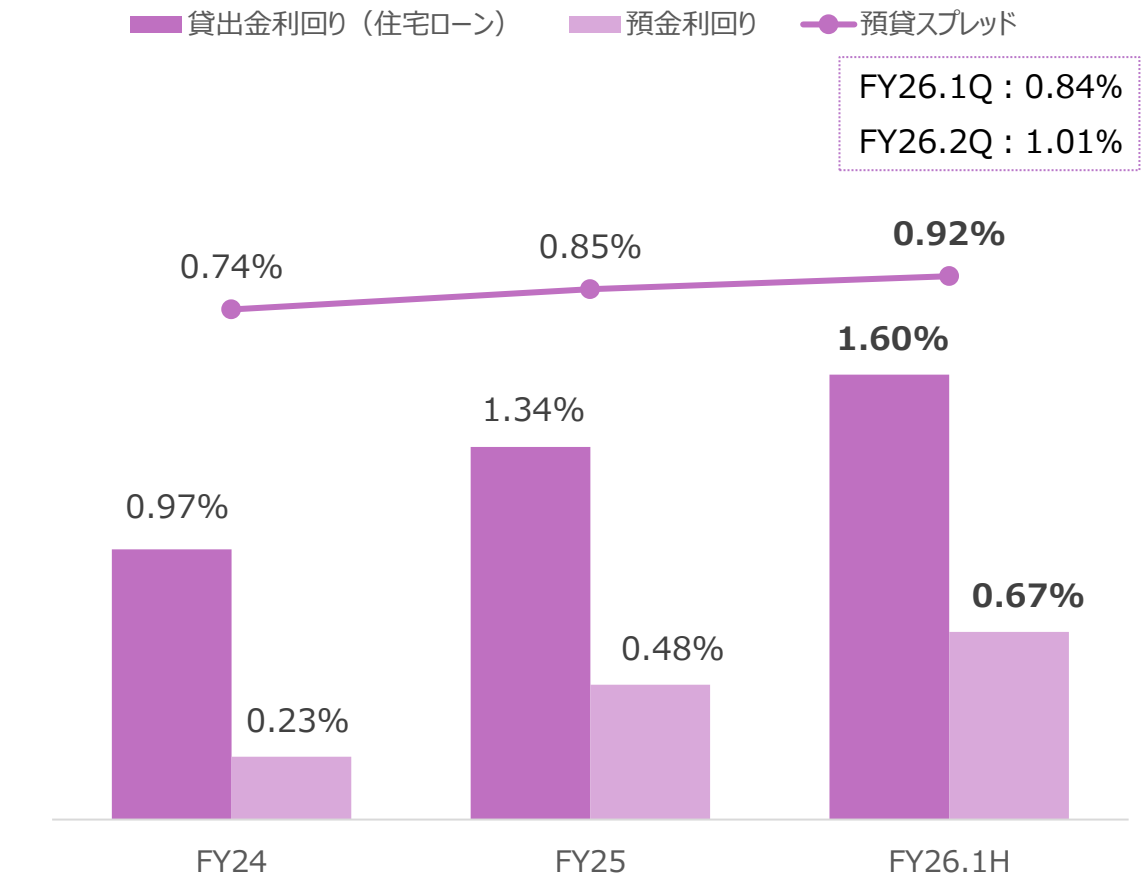
ソニー銀行｜2026年度第2四半期業容（スプレッド/J-GAAP）

- 外貨事業では、適切な預金金利運営により円貨対比で高水準の利鞘を維持
- 円貨事業では、日銀の政策金利引き上げに伴う金利上昇を受け、住宅ローン金利・預金金利を見直し、前年度を上回る水準を確保

預証スプレッド（外貨）



預貸スプレッド（円貨）

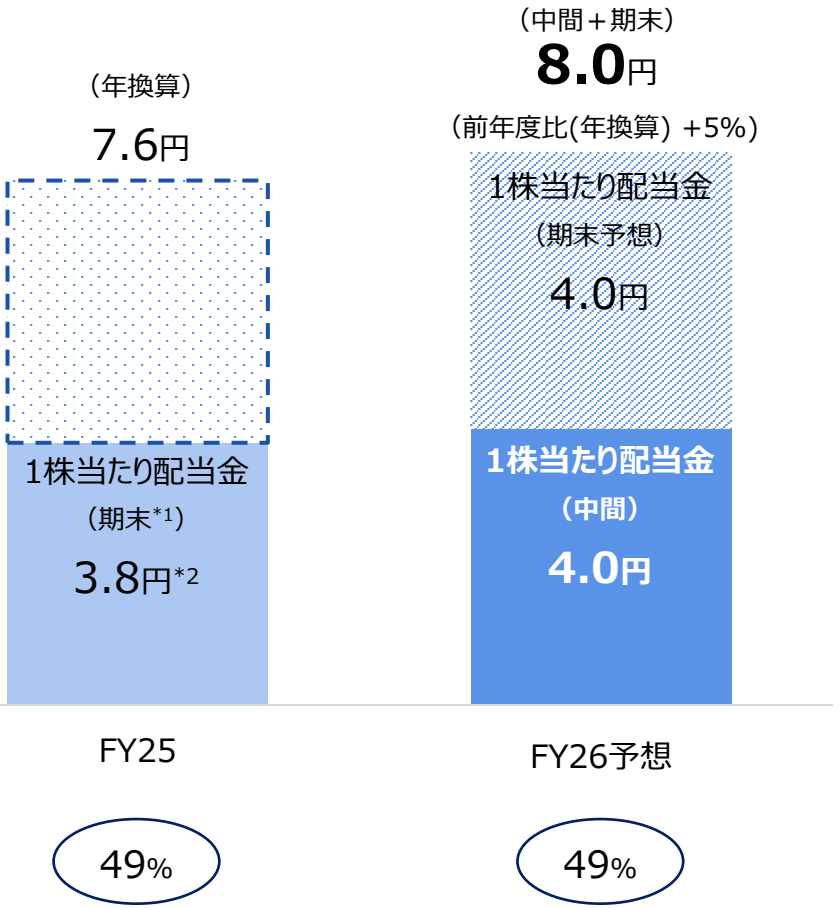


注1 定義は開示に準ずる。

株主還元

- 2026年度は中間・期末合計で１株当たり8.0円の配当を予定

１株当たり配当金



配当性向
（FY25は年換算）

49%　49%

株主還元の基本方針

- 配当を最優先
- １株当たり年間配当額の減額は原則行わず、安定的な配当の成長を目指す
- IFRS修正純利益 x 配当性向40～50%を目安とする

配当

- FY26は中間配当4.0円を決定
- 期末配当も4.0円を予定し、年間8.0円を予定

自己株式取得

- 資本水準と成長投資のバランスを考慮
  (FY25自己株式取得実績：698億円・4.40億株
  うち3.79億株を消却済)

*1：ソニーグループ株式会社による当社のパーシャル・スピンオフの効力発生日が2025年10月１日であることから、2025年度は半期分の支払い
*2：配当総額は256億円

修正純利益の定義（FY26以降）

- 当期純利益から市況変動や一時的な要因等を除き、ベースとなる利益の成長を測定する指標として「修正純利益」を経営指標として採用
- FY26より調整項目として「ALMに係るヘッジの評価差損益（除くヘッジコスト相当分等*1）」を追加
- 修正純利益の基本的な考え方に変更はなく、恒常的な収益力をより適切に示すための見直し

ソニーFG連結 修正純利益		SFGI連結当期純利益（IFRS会計基準） － 調整項目
調整項目 （全て税引後）	生命保険事業	投資損益のうち変額保険関連損益*2・為替差額（除くヘッジコスト相当分等*1）
		保険金融損益のうち変額保険関連損益*3・為替差額
		ALMに係るヘッジの評価差損益（除くヘッジコスト相当分等*1）
		有価証券の売却損益
		その他一過性の損益
	損害保険事業、 銀行事業、 その他	一過性の損益

*1：ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定（FVO指定）した債券から生じる当期の経過利息（期首金利に基づく）を含む
*2：変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの
*3：変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金融リスクの変動による影響

当期純利益から修正純利益への調整表

（億円）	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計	FY26.1Q	FY26.2Q 累計	FY26.3Q 累計	FY26.4Q 累計
税引前利益（IFRS会計基準）	**△341**	**254**	**605**	**△ 114**	**137**	**416**	-	-
税引後当期純利益（IFRS会計基準）	**△244**	**172**	**420**	**△ 86**	**91**	**286**	-	-
調整項目合計	**464**	**298**	**357**	**1,161**	**223**	**338**	-	-
生命保険事業関連調整項目	**464**	**298**	**357**	**1,161**	**223**	**420**	-	-
投資損益のうち変額保険関連損益*2・為替差額（除くヘッジコスト相当分等*1）	△700	△ 2,860	△ 6,037	△ 1,932	△ 7,043	△ 5,899	-	-
保険金融損益のうち変額保険関連損益*3・為替差額	312	2,244	5,476	1,681	6,998	5,935	-	-
ALMに係るヘッジの評価差損益（除くヘッジコスト相当分等*1）	22	16	25	32	5	20	-	-
有価証券の売却損益	1,021	1,021	1,041	1,827	362	551	-	-
その他一過性の損益	-	-	-	-	-	-	-	-
上記に係る税効果	△ 191	△ 123	△ 147	△ 448	△ 99	△ 187	-	-
損害保険事業関連調整項目	-	-	-	-	-	-	-	-
銀行事業関連調整項目	-	-	-	-	-	△ 82	-	-
SP.LINKS株式会社（旧SPSV社*4）に関連する持分法投資の譲渡益	-	-	-	-	-	△ 117	-	-
上記に係る税効果	-	-	-	-	-	35	-	-
その他調整項目	-	-	-	-	-	-	-	-
税引後修正純利益	**219**	**471**	**778**	**1,074**	**315**	**624**	-	-

*1：ヘッジポジションを保持するために必要な取引手数料・マージンコスト。純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定（FVO指定）した債券から生じる当期の経過利息(期首金利に基づく)を含む
*2：変額保険・変額個人年金保険見合いで有する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じるもの
*3：変額保険・変額個人年金保険に係る基礎となる項目の変動ならびに金利及びその他金融リスクの変動による影響
*4：ソニーペイメントサービス株式会社
*5：2025年度第２四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2025年度第1四半期の一部数値を修正のうえ再表示
*6：2026年度より修正純利益の算定式を見直したことに伴い、2025年度の一部数値を修正のうえ再表示。算定式の変更の詳細についてはP31参照

セグメント情報

単位：百万円	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計	FY26.1Q	FY26.2Q 累計	FY26.3Q 累計	FY26.4Q 累計
営業収益（IFRS･連結）	242,622	494,856	753,879	1,017,555	268,033	545,256	-	-
生命保険事業	170,756	344,513	523,272	705,814	182,443	367,688	-	-
損害保険事業	42,687	88,467	135,013	182,654	49,145	100,464	-	-
銀行事業	25,730	54,961	85,083	117,006	32,978	69,902	-	-
税引前利益（IFRS･連結）	-34,105	25,403	60,521	-11,450	13,723	41,694	-	-
生命保険事業	-41,192	11,407	38,121	-41,822	1,642	9,835	-	-
損害保険事業	4,859	6,289	9,738	14,881	6,898	8,480	-	-
銀行事業	2,765	8,820	14,460	18,350	6,002	23,811	-	-
修正純利益（連結）	21,943	47,106	77,830	107,443	31,503	62,475	-	-
生命保険事業	17,264	37,868	62,938	87,162	23,146	48,366	-	-
損害保険事業	3,489	4,655	7,174	10,681	4,979	6,084	-	-
銀行事業	1,862	5,861	9,740	12,846	4,214	8,377	-	-

注1：2025年度第２四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2025年度第1四半期の一部数値を修正のうえ再表示

ソニー生命｜保険サービス損益の内訳

単位：百万円	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計	FY26.1Q	FY26.2Q 累計	FY26.3Q 累計	FY26.4Q 累計
保険サービス損益	40,637	84,032	129,679	170,858	41,280	89,159	-	-
保険収益	120,895	243,720	370,677	501,624	129,963	262,400	-	-
CSM[*1]償却額	38,778	77,826	118,316	157,728	41,623	83,443	-	-
リスク調整の解放	7,800	15,792	23,976	32,286	8,214	16,369	-	-
予定保険金	29,283	58,554	88,546	118,116	30,513	62,409	-	-
予定契約維持管理費	15,323	31,250	47,809	64,956	16,938	34,392	-	-
保険獲得CF[*2]の回収	29,907	60,638	92,534	127,385	33,147	67,122	-	-
その他	-198	-343	-505	1,149	-474	-1,336	-	-
保険サービス費用	-80,267	-159,198	-240,647	-329,334	-89,008	-179,667	-	-
発生保険金	-29,515	-57,007	-84,957	-114,700	-29,622	-58,541	-	-
契約維持管理費	-16,029	-32,338	-49,443	-64,102	-17,409	-35,229	-	-
保険獲得CF[*2]の償却額	-29,907	-60,638	-92,534	-127,385	-33,147	-67,122	-	-
損失要素	-4,795	-9,300	-13,210	-20,117	-8,254	-20,837	-	-
その他	-19	86	-502	-3,029	-574	2,065	-	-
再保険損益	9	-488	-350	-1,431	326	6,425	-	-

*1：契約上のサービスマージン
*2：保険契約の取得に直接起因する費用からのキャッシュフロー

ソニー生命｜税引前利益の内訳

単位：百万円	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計	FY26.1Q	FY26.2Q 累計	FY26.3Q 累計	FY26.4Q 累計
税引前利益	-40,908	11,903	38,813	-40,926	2,720	11,388	-	-
保険サービス損益	40,637	84,032	129,679	170,858	41,280	89,159	-	-
金融損益	-71,425	-51,998	-60,064	-172,103	-27,309	-52,583	-	-
投資収益	4,149	261,540	620,494	172,944	714,539	624,639	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定することが要求される金融資産から生じる金利収益	44,082	89,147	135,181	180,611	46,409	93,443	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じる純損益に認識した正味利得	116,509	289,099	525,530	75,642	677,413	625,410	-	-
為替差損益	-48,071	-3,512	80,186	120,171	31,050	-30,523	-	-
その他	-108,371	-113,194	-120,403	-203,481	-40,334	-63,690	-	-
うち 有価証券売却損益	-102,139	-102,139	-104,109	-182,799	-36,216	-55,149	-	-
うち レポコスト	-6,997	-12,483	-18,140	-22,387	-3,729	-8,050	-	-
保険金融収益又は費用	-75,595	-313,598	-693,796	-365,854	-750,672	-679,574	-	-
発生計上した利息	-48,023	-96,454	-145,494	-195,302	-51,058	-103,590	-	-
変額保険・変額個人年金に係る基礎となる項目の変動並びに金利及びその他金融リスクの変動による影響	-80,543	-228,563	-475,959	-62,203	-674,905	-617,225	-	-
為替差損益	49,260	4,117	-83,022	-122,338	-30,302	30,056	-	-
その他	3,711	7,302	10,680	13,989	5,594	11,185	-	-
再保険金融収益又は費用	20	58	13,236	20,806	8,823	2,351	-	-
発生計上した利息	26	54	1,934	4,431	3,464	8,673	-	-
為替差損益	-7	5	11,304	16,373	5,341	-6,406	-	-
その他損益	-10,120	-20,130	-30,801	-39,680	-11,251	-25,187	-	-
販売費及び一般管理費*1	-14,226	-28,487	-43,121	-53,908	-15,468	-31,450	-	-
その他	4,106	8,357	12,320	14,228	4,217	6,262	-	-

*1：保険契約の履行に直接起因しない間接費

ソニー生命｜貸借対照表

単位：百万円	26.3末	26.6末	26.9末	26.12末	27.3末
資産	15,328,304	16,083,316	16,132,471	-	-
円債（定額）	5,507,401	5,297,800	5,257,601	-	-
米ドル建て債券	1,281,444	1,318,700	1,109,783	-	-
特別勘定	5,554,049	6,397,200	6,401,771	-	-
円債（変額）	578,025	489,800	468,273	-	-
リスクアセット	193,463	226,200	244,494	-	-
その他資産	2,213,920	2,353,616	2,650,547	-	-
負債･純資産	15,328,304	16,083,316	16,132,471	-	-
円建て定額保険	4,192,253	4,072,805	3,922,190	-	-
円レポ	654,797	700,900	845,971	-	-
米ドル建て保険	1,265,448	1,352,405	1,297,011	-	-
ドルレポ	220,447	233,700	222,837	-	-
円建て変額保険	4,444,724	5,135,527	5,139,515	-	-
特別勘定の運用成果として契約者に帰属する部分	5,806,420	6,573,198	6,588,415	-	-
最低保証として会社に帰属する部分･事業費収支	-1,361,695	-1,437,670	-1,448,900	-	-
CSM 他	2,600,990	2,641,435	2,622,636	-	-
その他負債	1,353,442	1,397,543	1,573,907	-	-
純資産	596,200	548,998	508,400	-	-

ソニー生命｜ CSM残高･包括資本（IFRS 会計基準）

単位：百万円	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末	26.6末	26.9末	26.12末	27.3末
税引前CSM*1	2,067,445	2,097,692	2,133,443	2,055,961	2,097,936	2,083,614	-	-
新契約CSM	75,784	157,379	237,566	318,760	56,289	112,398	-	-
CSM償却額	-38,778	-77,826	-118,316	-157,728	-41,623	-83,443	-	-
その他	-38,074	-50,373	-54,319	-173,582	27,308	-1,301	-	-
為替影響	-3,668	-384	6,721	9,887	2,285	-1,244	-	-
利息	6,255	12,704	19,412	26,392	6,150	12,524	-	-
前提の影響等	-40,661	-62,693	-80,453	-209,863	18,872	-12,582	-	-

*1：再保険CSMは含まない
注1：2025年度第２四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2025年6月末の一部数値を修正のうえ再表示

単位：百万円	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末	26.6末	26.9末	26.12末	27.3末
IFRS包括資本	2,202,376	2,238,438	2,180,956	2,060,811	2,047,570	1,995,632	-	-
純資産	733,335	747,718	659,089	596,200	548,998	508,400	-	-
税引後CSM	1,469,040	1,490,720	1,521,866	1,464,610	1,498,572	1,487,232	-	-

注1： 2025年度第２四半期よりIFRS会計基準に基づく財務情報について監査法人による任意の監査及びレビューを受けており、2025年6月末の一部数値を修正のうえ再表示

ソニー生命｜保有契約・チャネル陣容

単位：百万円	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末	26.6末	26.9末	26.12末	27.3末
保有契約高[*1,2]	73,184,620	74,808,508	76,410,122	77,308,784	78,630,511	79,108,182	-	-
保有契約年換算保険料[*2]	1,313,682	1,337,919	1,363,827	1,385,196	1,398,893	1,406,390	-	-

*1：ソニー生命が保険契約者に対して提供する保障の総額
*2：個人保険と個人年金保険の合計

単位：百万円	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計	FY26.1Q	FY26.2Q 累計	FY26.3Q 累計	FY26.4Q 累計
新契約高[*1,2]	2,591,184	5,446,379	8,184,901	10,939,149	2,381,305	4,733,925	-	-
新契約年換算保険料[*2]	40,693	84,017	127,630	173,046	38,067	76,523	-	-

*1：年度始から各四半期末までに販売された保障の総額
*2：個人保険と個人年金保険の合計

単位：人	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末[*1]	26.6末	26.9末	26.12末	27.3末
ライフプランナー数	5,816	5,831	5,822	6,031	6,067	6,064	-	-
代理店サポーター数	299	313	317	318	299	336	-	-

*1：ライフプランナーの逝去に伴う退職の把握時期に差異があったため、ライフプランナー数について過去の公表数値を修正

ソニー損保｜主要指標の推移（J-GAAP）

単位：百万円	FY25.1Q	FY25.2Q 累計	FY25.3Q 累計	FY25.4Q 累計	FY26.1Q	FY26.2Q 累計	FY26.3Q 累計	FY26.4Q 累計
元受正味保険料	48,897	96,618	146,661	199,523	56,160	110,134	-	-
E.I損害率[*1]	62.2%	67.8%	68.4%	68.2%	63.8%	70.3%	-	-
正味事業費率	24.5%	24.2%	24.1%	24.6%	21.7%	21.8%	-	-

*1：地震保険・自賠責保険を除く

ソニー銀行｜主要指標の推移（J-GAAP）

単位：百万円、千口座	25.6末	25.9末	25.12末	26.3末	26.6末	26.9末	26.12末	27.3末
住宅ローン残高*1	3,646,394	3,617,289	3,582,304	3,550,309	3,525,944	3,536,053	-	-
円預金残高	3,715,127	3,800,697	3,863,579	3,941,023	3,989,809	4,004,734	-	-
外貨預金残高	724,614	736,272	733,665	770,544	761,770	876,001	-	-
顧客口座数	2,072	2,097	2,128	2,146	2,182	2,230	-	-

*1：数値は日本会計基準